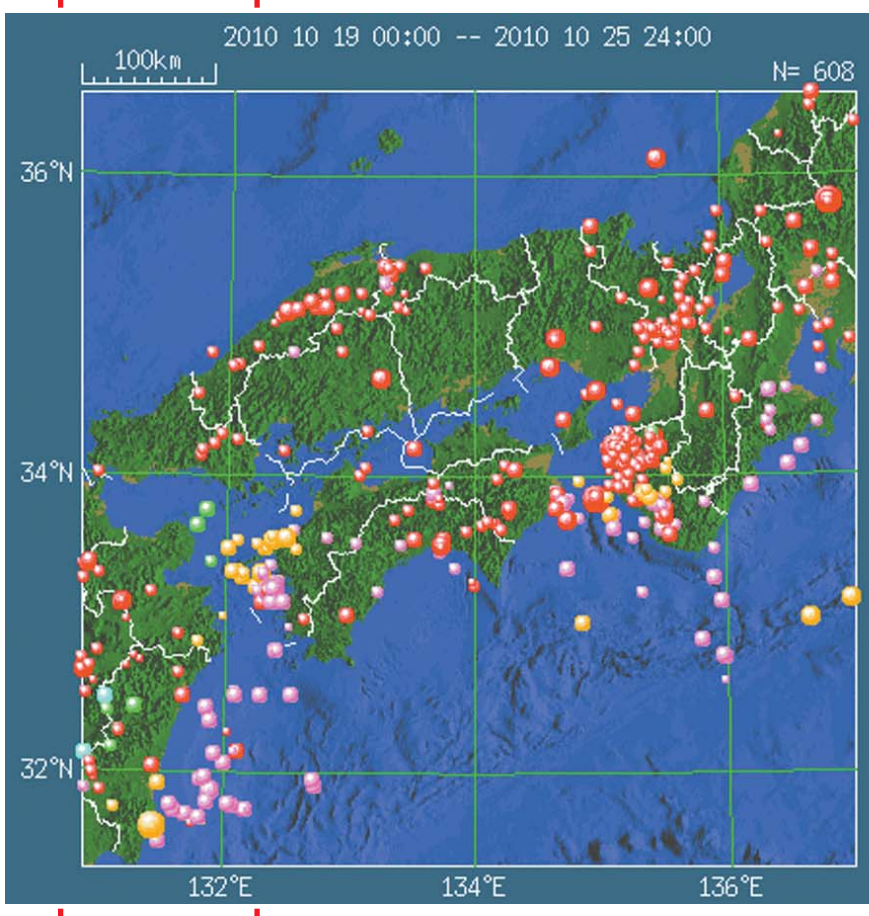
Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

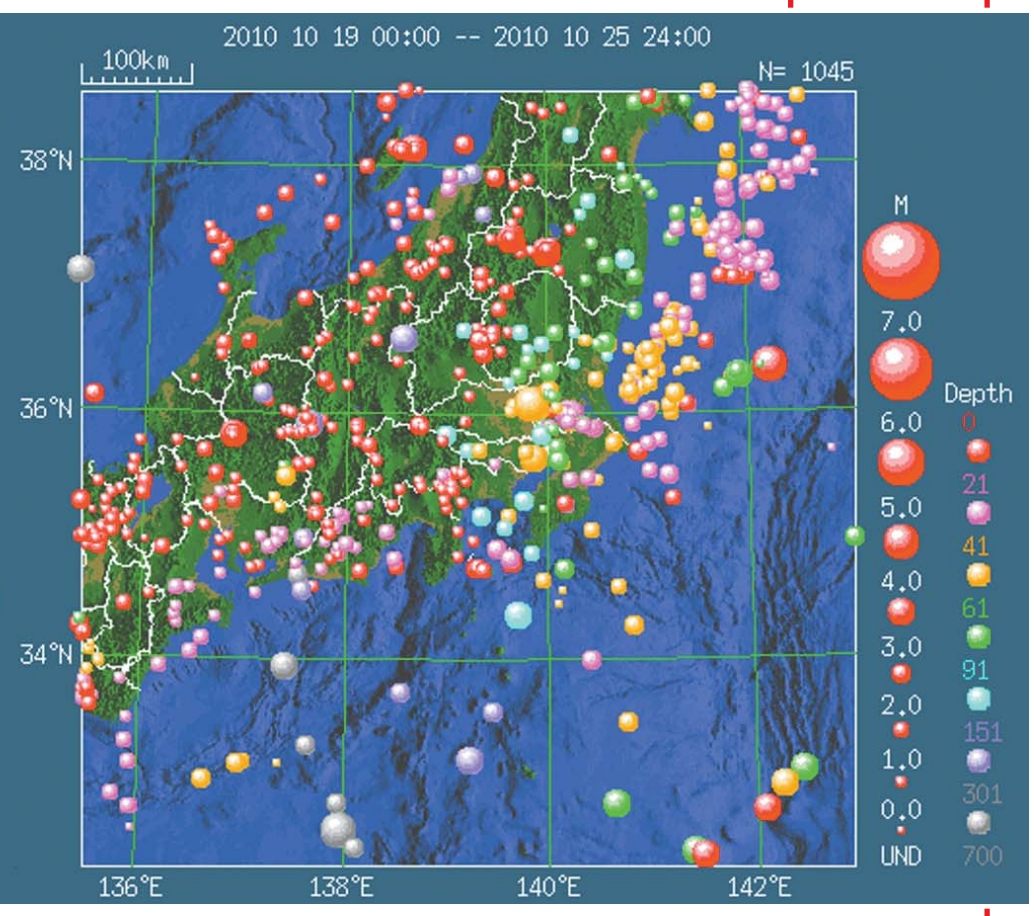
地震大国に生きる

画像は今年10月19～25日の１週間の、「地震活動」（気象庁データ）だ。微弱な地震は体感出来ないが、１週間で実に多くの地震が日本周辺で頻発している。

［近畿・中国・四国地方］



［関東・中部地方］



「道の駅」さらなる防災拠点化を

体制構築欠かせない

世界1の地震常襲国。私たちはこのことを常に意識する必要がある。地震予知、災害復旧、耐震化……。地震に対する日本の技術は世界1だ。6年前、震度6強の新潟県中越地震が発生。その時「道の駅」は避難所や災害復旧の拠点になった。これを教訓に「道の駅」の防災拠点化が進む。被災状況の把握や救助、復旧に欠かせない地図も地理情報システム（GIS）の進歩で格段に精度を増した。今改めて防災問題を考える。

画像データが示すように、驚くほど大地が活発に活動している状況下では、大規模地震はいつ発生しても不思議ではない。今後、発生が予測される大規模地震には「備えあれば憂いなし」こそ、必要な心構えである。

近年でも阪神・淡路大震災以後、新潟県中越地震、能登半島地震、新潟県中越沖地震、岩手・宮城内陸地震など大地震の発生は相次いでいる。こうした被害から身を護り社会を護るには、防災体制の不断の構築が欠かせない。

道の駅の防災拠点化も中越地震の教訓が生かされた。避難所や情報発信、ライフラインの確保などに被災地周辺の道の駅が有効に機能したことを証明したのも、新潟県中越地震の後である。このため、国も設備や備品を整備し防災拠点化を進め、防災拠点となった道の駅は、09年度で全国の43道の駅に増えた。

国に災害対策本部が設置されるような災害が発生した際、国交省国土地理院は真っ先に現場周辺の地図を持ち込む。そこには刻々変化する被災状況や、ライフライン、救助や復旧のための情報がGISを使った多層のデータマップとして提出される。中越地震を教訓に進化した技術。中越沖地震ではボランティアも協力して、迅速に地図が書き換えられ、復旧に大いに役立ったという。

地球表面の地盤は幾つかのプレートに分かれ、地震はプレート同士がぶつかる境界で多く発生する。日本列島は4つのプレートがぶつかる境界線上にある。

日本の国土面積は世界の陸地の約0・25%。この上でマグニチュード（M）4以上の地震だけでも世界の地震エネルギーの10%以上が開放され、M6以上の地震では20%以上が日本とその周辺で開放されている。

地震が宿命の国・日本。さらなる道の駅の防災拠点化が急がれる。

大地は活発に活動

第30号 INDEX

1～3	特集「災害と道の駅」
4/5	甦れ！鎮守の森③
6	「わが国、国土のすがた」④
7	道の駅グリーンプロジェクト
8/9	特集「道の駅 光のファンタジー15選」
10	国土学事始め／なるほどブリッジ⑫
11	話題の道の駅「のとじま」
12/13	グリーン・ツーリズム／奈良特集
14	読者の声／おもしろ万葉集
15	プレゼント／パズル

平城遷都1300年祭開催中

中越沖地震では、陥没など各所の道路が寸断

G空間社会をつくる

地理情報システム「GIS」駆使
災害対応状況を地図に

「G空間社会」。聞きなれない言葉だが9月、横浜・みなとみらいで「G空間EXPO」が開かれた。地図とGPSで得られる情報に様々な情報を組み合わせ、より便利なサービスが受けられるのがG空間社会。災害時に「どこへ、どう避難すればよいか」誘導したり、安心・安全な生活を実現するインフラだ。G空間を地図作りに活用したのが地理情報システム（GIS）。その有効性は新潟県中越沖地震で証明された。災害対応支援GISチームで活躍した「にいがたGIS協議会」の坂井宏子会長に、緊急地図作成に関わった体験を披露してもらった。

中越沖地震でも活躍
産官学の連携

07年7月16日、中越沖地震(M6・8)が発生。17日の災害対策本部で、本部長の泉田裕彦新潟県知事が「災害対応の状況を分かりやすく地図化できないか」と要請。これを受けて即日、京大防災研究所の林春男教授をリーダーに、にいがたGIS協議会などが加わって産官学民が協働し「地震災害対応支援GISチーム」を組織。翌日、同チームによる「地図作成班（EMC）」が対策本部内に設置された。

GIS（地理情報システム）を駆使し、産官学民協働のボランティアで災害対策支援マップを作るのは日本初の試みだ。「猛スピードで様々な判断を迫られた」と振り返る坂井さん。同協議会は高機能パソコンや地図データなど必要資材を調達して無償で提供。作業が一段落するまで23日間、毎日約10人のボランティアを派遣した。

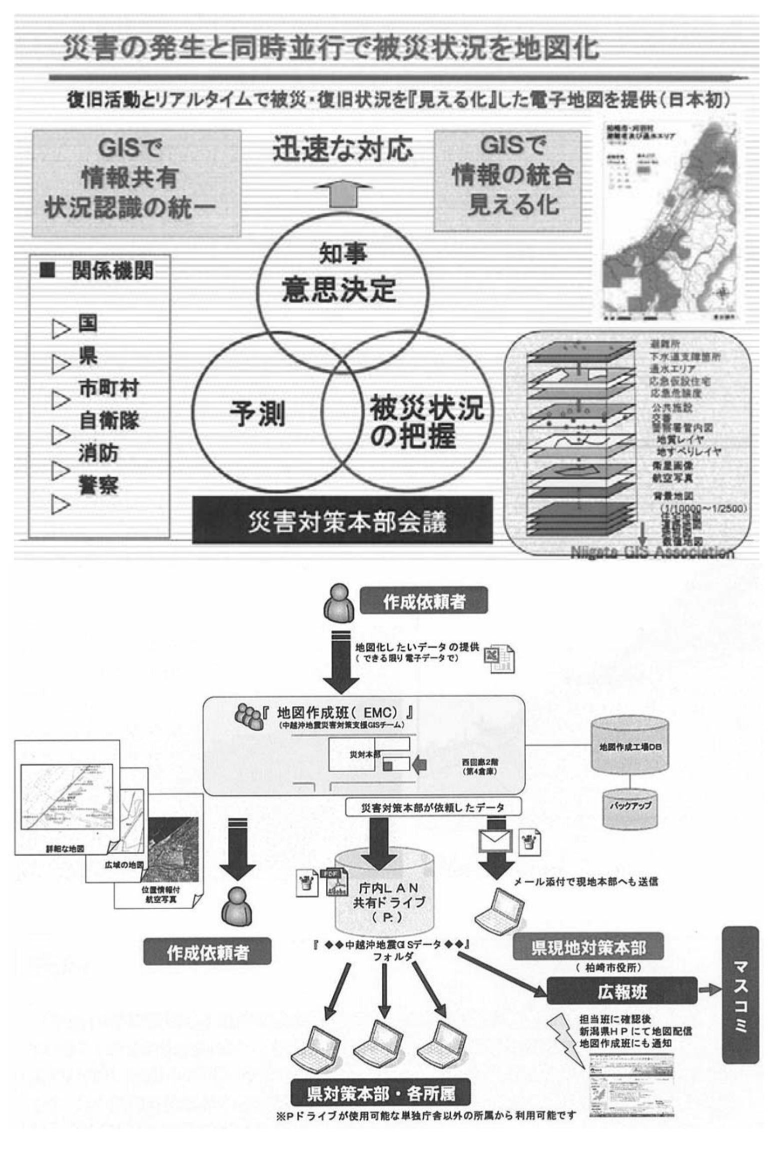
メンバーはその3年前の中越地震を機に、GISの活用で地域貢献しようと設立した同協議会の地元企業6社の精鋭。地元事情に精通する強みを生かし、支援体制を瞬時に整備。会社業務もこなしながらの活動で、連絡メールは連日未明や早朝にやり取りし、土日や夜間も無関係だった。

延べ275人の努力で、災害状況図、通水エリアと避難所の位置や避難者数、下水道の支障個所図など約200種の地図を作った。このデジタル地図化は、対策本部の意思決定に大いに役立った。関係機関が状況認識を共有できたからだ。

泉田知事は地図作成班の活動を「新潟発の災害対応の新しい試みだ。GISを用いた地図で災害の全体像を明らかにした。産官学の連携で県外から人的物的資源を呼び込んだ功績は全国初」と、高く評価する。

協議会メンバーの中には、中越地震でGISを使った復旧活動にボランティア参加したり、能登半島地震でも現地入りしてGISのボランティア活動をした人もいる。

坂井さんは「この経験を生かして災害時の産官学民連携の仕組みを確立し、全国に新潟モデルとして発信したい。災害発生時には、いかに早く正確な情報を入手し、分かりやすく『見える化』するかが重要。効果的な支援活動には平時からの備えが大事で、地域のデータは地域で作り、守る仕組みを構築したい」と話している。



出典：「新潟県中越沖地震対応における地図作成班の活動（H21.3）」
（京都大学防災研究所・新潟大学災害復興科学センター　報告書）

対策の打ち合わせにも様々な地図が欠かせない

■地震災害に備える■

平成16年の新潟県中越地震以降、能登半島地震、新潟県中越沖地震(ともに19年)、岩手・宮城内陸地震（20年）など、震度6強以上を観測する地震は、数年に1回程度の割合で発生しています。読者のみなさまも「毎年のように、国内のどこかで大きな地震が発生している」と記憶されているのではないでしょうか。

道路は地震直後の救助・救急、被災者への物資輸送などで重要な役割を担うため、地震で道路が被害を受けないようにすることが最も大切です。しかし、大きな地震が発生すると道路が被害を受けるケースも生じます。この場合、迅速に道路の被害状況を把握し復旧することなどが求められます。過去の経験に学んだ取り組みの例を紹介します。

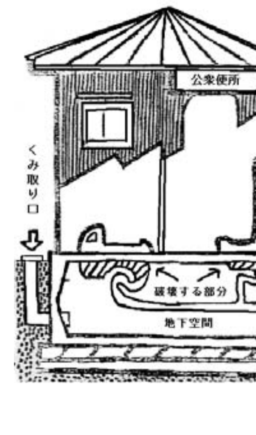
「バイク調査隊」被害状況把握 迅速に
「道の駅」防災機能を整備

国土交通省北陸地方整備局は、道路の被害状況の迅速な把握を目的に「バイク調査隊」を結成しています。バイク調査隊は「道路が被害を受けて自動車が通行出来なかったり、渋滞でパトロールカーが現場に着けなかった」といった、中越地震の経験を教訓に設立されました。

バイク調査隊は、自動二輪車の機動性を活かして活動します。能登半島地震や中越沖地震で出動しており、国道の被害状況を把握したほか、渋滞箇所を調査したり、県の要請を受けて迂回路の状態を確認するなど、成果を挙げています。

過去の経験に学んだ取り組みについてもう一つ。中越地震では「道の駅」が道路情報の発信場所や、被災者の一時的な避難場所として利用されました。近年は、断水時にも使用できる防災トイレや自家発電機を備えた「道の駅」も整備されています。

（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター地震防災研究室長・高宮進）



㊨バイク調査隊による被害調査＝北陸地方整備局提供㊧道の駅「万葉の里高岡」の防災トイレ。断水時は、ハンマーで陶器製便器を打ち抜き、くみ取り式へと変身＝北陸地方整備局作成資料から引用

地域の宝もの

糠谷　真平
国民生活センター顧問

坊ちゃんのまち松山

9月の半ば、たまたま昼のNHKテレビを見ていたら松山の道後温泉の話が出ていた。

夏目漱石の坊ちゃんや、司馬遼太郎の坂の上の雲の秋山兄弟で有名な、愛媛県松山市は四国四県のなかで人口も一番大きい市だが、城下町でもあり、温泉もありなかなか面白い都市だ。しかも、松山駅から道後温泉まで市街電車が通っているのもうれしいことだ。

道後温泉には、もちろん旅館はたくさんあるが、多くの人は共同湯である道後温泉本館に入りに行く。温泉本館は明治27年に建てられたという三層の風格のある建物で、まさに道後温泉の象徴だ。

そこには神の湯と霊の湯の二つがあり、どちらもお湯は同じだと思うが、着替えの控え室や茶菓、浴衣のサービスなどのちがいで霊の湯の方がやや高い。私はせっかくだからと霊の湯のほうを選択したが、これは趣味の問題だ。

普通の温泉地では温泉旅館に泊まるのが当たり前だが、私は温泉本館のお湯に入るのが目的で、また一人旅でもあり温泉の後は市内のホテルに泊まった。

松山市内では、他にも松山城や、坊ちゃんや坂の上の雲ゆかりの施設など、見るべきものは少なくないが、忘れてならないのは松山から車で1時間たらずのところにある内子町という町だ。

大正時代に木蝋や生糸で財をなし、現在もその当時の建物が保存されていて、伝統的建造物保存地区として木蝋と白壁のまちともいわれている。特に有名なのは内子座という歌舞伎の劇場で、大正天皇の即位を祝って建設されたものが、昭和60年に復元されて劇場として再出発したことだ。

私はそのしばらく後に国土庁勤務となり、大きな話題となっていたので訪ねて行き、小さな町でも大きなことが出来るのだと感心したことを覚えている。

考えてみると、地域づくり全般においても元気が良かったのはこの頃までで、1990年代以降は日本経済全体もそうだが、勢いが弱くなっているのかもしれない。

チリ地震後
日本の耐震設計技術採用

南米チリは日本と同等以上に地震活動が活発な国だ。今年2月、首都サンティアゴに次ぐ第2の都市コンセプション近くの太平洋岸を震源地とするM8・8の大地震が発生した。㈳土木学会は調査団を派遣し現地調査をしたが、調査団とチリ政府の公共事業省との間で技術的な情報交換や討議をしたのがきっかけで、チリの新しい橋梁の耐震基準に日本で開発された落橋防止構造という耐震技術が取り入れられることになった。

現地調査　日本にも教訓

調査団は土木学会と日本地震工学会、地盤工学会、日本建築学会の4学会が協同で専門家を派遣。調査団の一人、国交省国土技術政策総合研究所危機管理技術センターの運上茂樹地震災害研究官に話を聞いた。

運上さんによれば、被害の特徴は落橋と津波被害だが、震源から300キロ以上離れたサンティアゴでも大きな揺れを観測し落橋被害が生じるなど、将来日本で懸念される南海地震、東南海地震など海洋性巨大地震により広域的に生じる可能性がある被害への迅速な対応を考える教訓になった。

落橋被害（チリ政府公共事業省提供）

技術輸出で世界と連携

落橋被害では、昔造られた橋に比べ、最近造られた橋に被害が集中していた。最近建設された橋では、路面を支える桁という部材を横に繋いで一体性を高める横桁という部材が設けられていなかったり、地震力を受けて桁が横方向に移動することを拘束する移動制限機構が省略されていた。もともとチリでも横桁や移動制限機構が設けられていたが、建設・維持の民間委託が進む中、建設の容易さとコスト縮減のため単純化された構造が採用されてきたことが被害につながったという。

この地震で津波が日本にも到達したのは記憶に新しい。調査報告書によればチリ沿岸の被災地には平均5～8メートルの津波が押し寄せた。最高はビル10階に相当する28メートルに達し、河川を遡上した津波は約6キロ上流でも6メートルに達していた。

堤防の有無が被害の明暗を大きく分けたことも分かった。7メートルの堤防があった地区は被害が無かったのに、最高でも6メートルの砂丘しかなかった地区は、家屋がほぼ完全に崩壊していた。

運上さんは、今回の地震では500人を超える方が亡くなり、その多くが津波によるもので、地震直後の警報、避難がいかに重要かが改めて認識された、と指摘する。

落橋防止対策は、日本では1964年の新潟地震の被害経験を踏まえ、世界に先駆けて落橋防止構造が考案され、以来規定が強化されてきた歴史がある。落橋防止構造とは、大地震時に横桁に大きな移動が生じても落橋が生じにくいよう、橋桁と橋脚などを連結しておく特別な構造をいう。チリ政府の公共事業省は今回の被害状況を受けて7月、道路橋の耐震設計基準を改定、強化した。

改定した規定は日本の基準をそっくり採用したものだ。調査団との技術的な討議を通じ、震災経験を踏まえた日本の橋梁の耐震技術に対する高い信頼感が生まれたから、と考えられる。

運上さんは「技術輸出を通して国際貢献するには、その国で必要とする技術メニューを提案できるよう、より合理的・普遍的な技術開発に努めると同時に、広くいろいろな国の技術者と連携し、信頼関係を高めていくことが重要」と話している。

「道の駅」防災機能　震災で脚光
国・自治体と連携加速

「道の駅」が「防災拠点」として機能することが分かったのは、6年前の新潟県中越地震の時である。地震直後から小千谷市や川口町など6カ所の「道の駅」には、道路状況などの情報を求める人たちが集まり、そのまま避難所や支援施設に利用された。

「クロス10十日町」は炊き出しをしたり、駐車場に仮設住宅を建設。「あぐりの里越後川口」や「ちぢみの里おぢや」などは自ら被災しながらも避難場所となり、温浴施設のある道の駅は、温泉を無料開放もした。道路の寸断で、身動きの取れない利用者には、復旧情報なども提供、喜ばれた。

こうした道の駅の災害時の機能は、その後の岩手・宮城内陸地震でも「路里田はなやま」や「厳美渓」などで同じように発揮された。

道の駅の防災機能が脚光を浴びたのをきっかけに、国や自治体は連携して道の駅の防災拠点化を順次進め、推進する動きが加速していった。

防災拠点化した道の駅には、避難施設や情報提供施設、備蓄倉庫や非常用トイレ、自家発電や非常用電源装置、貯水槽や井戸などが整備されている。

また、自治体は災害時に備え、管内の道の駅と「災害時協力協定」を結ぶところが増えている。いざという時、店頭や倉庫にある食糧や水、野菜などを救援物資として提供し、利用客や周辺住民への災害情報を発信する役目を務めてもらう、などの協力体制を構築している。

海上クルーズ

海の道(5)
身の丈にあった時間価値

10月末まで香川県の直島、小豆島など瀬戸内海の7つの島々と高松港を舞台に開かれた現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2010」が大好評でした。来場者は目標の30万人を大幅に超え70万人近くに達しました。日頃は静かで閑散とする各島内に、若いカップルはじめ多くの人々が海外からも出品された芸術作品を見に訪れました。我が国でいち早く国立公園に指定された瀬戸内海。美しい海に浮かぶ島々はそれぞれ個性を持ち、独特の自然や暮らし、文化を持っています。夕陽とマッチした遠景美はもとより、島に上陸して見る近景美も独特の雰囲気を醸し出しています。

島であることで独自文化を創出し、簡単には行けないため、他の文化との交流が閉ざされてきました。これに現代アートが加えられ、訪れる人々は非日常的で、エキゾチックな雰囲気を感じられたのかもしれません。

祭典を支えたのが島々を結ぶフェリーです。日頃は島民の生活を支えていますが、祭典では島々を廻る「海の道」です。

島が橋で繋がれば、文化の交流が起き独特の文化が希薄になります。でも車で廻ると半日で行けるところが、フェリーだと1～2日かかり、時間的には非効率です。

しかし、ゆったりと波間や島影を見ながら過ごし、島に上陸すれば独特の文化に触れることができる時間は、お金では買えない至宝の時です。瀬戸内の島めぐりに限らず、世界一周クルーズでも同様です。時速800キロのジェット機の十分の一以下の速度の大型客船で約100日間をかけ、ゆったり世界一周を楽しむ人々が増えています。動く豪華ホテルの旅。時間をかけて廻ることで、異国の文化の違いをじっくり味わい、それに溶け込むことができます。

08年の統計では、わが国のクルーズ人口年間19万人に対し、米国940万人、英国150万人、ドイツ91万人で、日本は海洋国と言いながらクルーズ後進国です。うち8万人以上の日本人は、飛行機で海外に行き、そこでクルーズを楽しんでいます。

つまり日本沿岸域でのクルーズ人口の少なさを意味しており、四方を海で囲まれながら、その良さを満喫していないことになります。今回芸術祭が開催された瀬戸内海は、内湾で多島美を誇り、独特な文化を有し、新鮮な魚介類を楽しめるクルーズエリアとして十分なポテンシャルを持ちながら、まだまだ未開発な部分が多くあります。

高速での移動に慣れた現代社会では、海の道を廻ると忘れかけた別の時間価値を再発見できます。移動の高速化は、市場経済では不可欠な要素ですが、人間にとっては時として精神的なストレスに繋がります。その点、クルーズは人間に身の丈にあった時間価値を与えてくれます。

クルーズが観光立国への促進剤になり、悩める人々が多い現代社会に精神の安定剤となることを期待します。瀬戸内に昇る朝陽と島影に沈む夕陽の「光」をゆったりした気分で「観」る。まさしく「観光」そのものです。

㈶沿岸技術研究センター・八尋明彦

瀬戸内海の島々を航行する船
（香川県広報公聴課提供）

土砂災害防ぐ森林 適切な管理が必要

「ゲリラ豪雨」「観測史上最高の降雨量」などの言葉がしきりに聞かれるようになり、新潟県中越地震や岩手宮城内陸地震などの活断層型直下地震も頻発している。こうした局地的豪雨や地震で山地災害が多発し、人命や人家、道路はじめ守り育てた森林にも大きな被害が発生している。

茨城県つくば市にある独立行政法人森林総合研究所によれば、森林には本来、表層崩壊防止機能がある。土砂流出に役立つ森林は、雨が落ちてくる衝撃を落葉や森林が受け止めてやわらげ、流れる水の速度を抑えることで、土壌の崩壊や浸食を防ぐ。土砂や水が急激に流れ、下流に被害が及ぶのを防ぐ効果もある。

また、森林が地下に根を張り巡らせていることによる効果もある。根が地盤内にあって、杭を打ち込んだように土壌や地盤を固定し、横に張った根は地表に網をかぶせたように土壌を縛り付ける効果もある。

しかし、樹木が幼いうちは根も細く、量も少ないので十分な効果を発揮するには約20年かかるという。また、生育が悪く成長が止まったり、伐採で切株になると根は腐り、根の持つ崩壊防止機能は衰える。樹木の種類で異なるが、根が消失するまで早いもので3年、強い根でも10年ほどとされる。だから伐採地の表層崩壊は伐採直後より10年後の方が高い。

こうした樹木の持つ機能は、土地の条件にあった樹種を植え、根の成長を促すよう適切に管理することが重要だという。

同研究所は荒廃地の緑化や災害跡地の復旧技術開発、森林保全のための予防的治山技術の開発、危険地区の判定などを研究しており「山地災害防止システムの確立」「気候変動に対応した山地防災力の向上」などを2050年の目標としている。

木曽路の鎮守の森

私の道

人生はifの連続、可能性を信じて

山野学苑理事長
山野 正義さん

物心ついたときから、どこへ行って何をしても「山野愛子の長男」が付いて回る。父は私を跡継ぎと決めてかかっているし、自分の人生のレールが既に決まっているようでプレッシャーは相当なものでした。誰も自分のことを知らないところに行きたい、とよく思ったものです。

高校生になると乗馬とオートバイに熱中しました。乗馬はいいとして、制服を脱ぐと当時日本に数台しかなかったハーレーで街中をぶっ飛ばすんです。窮屈な家も学校も忘れ爽快でね。道路交通法などない時代でしたが、スピード違反で1年に29回も捕まり、さすがに父もこの先こいつはどうなるのかと危ぶんだのでしょう。お前アメリカに行くか、と切り出しました。

アメリカは映画で見てあこがれていた国。何より父から解放されたいとずっと思っていましたから、一も二もなく飛びつきました。自分を認めさせたい、父とは別の道でいっぱしになろう、そんな思いもあったと思います。外貨の持ち出し規制が500ドルの時代に両親からこっそり1万ドル持たせてもらい、私の留学生活は悠々とスタートを切ったはずでした。

その金の大部分を数日でだまし取られ、講義も英語がわからずちんぷんかんぷん。渡米1週間で孤独と貧困に陥ろうとは思ってもみませんでした。でも悩んでいる暇はない。牛の片脚などずしりと重い食用肉を配送するアルバイトを見つけ、午前中は外国人向けの英会話学校に通い始めました。肉体的にはきつかったけれど、こうした生活が私を鍛えてくれた。目標が定まると、人間は信じられない力を発揮するのだと身をもって知りました。

22年間のアメリカ生活である人から教えられたことがあります。Lifeという単語の最初のLはliving（生きている）、最後のeはend。生まれてから死ぬまでの間にあるのはif。つまり、人生はif（もしかしたら）の連続であるというのです。人間にはあらゆる可能性があり、その可能性はすべて選択した結果の連続だというわけです。

私が留学し働いた時代はすべての人々がアメリカンドリームを手にすることができました。私も全米トップクラスの保険セールスマンとなり永住権を持つまではifの可能性を信じ、すべて自分の努力で成し遂げたのだと胸を張って言えます。

現在の世界は、いかに可能性を信じようと雇用問題などが厳しい状況にあるのは事実です。しかし、あきらめて可能性と選択を放棄してしまったら、自分で自分の人生を否定することになります。人材育成を通じ、厳しい現実に立ち向かう力を若い人たちに伝えていきたいと思っています。

やまの・まさよし　1936年東京生まれ。母親は「どろんこ美容」で一世を風靡した美容家・山野愛子（95年没）。学習院大学を米国留学のために中退。ウッドベリー大学卒業（経済学名誉博士号取得）。ミュチュアル・オブ・ニューヨーク生命保険会社で全米契約数2位を3年連続で獲得するなど活躍し77年に帰国。美容専門学校はじめ4校を運営する。日系3世の妻との間に二人の娘がおり山野愛子ジェーンは長女。

「道の駅」防災拠点化も進む

甦れ！ 鎮守の森 ③

里山の荒廃とともに激減した鎮守の森。地球環境が様々に悪化する中、食糧と情報、自然災害やエネルギー、環境維持を組み合わせた国土保全の核として「道の駅」を「新・鎮守の森」に活用しようという構想が進んでおり、防災拠点化された道の駅は着実に増えている。地震や集中豪雨のたびに山が崩れ、道路が寸断される被害が繰り返されるのは宿命的でもある日本。CO_2削減効果だけでなく、緑の保水力や根の張りがこうした被害を少しでも軽減する役に立つ。山を護り緑を増やす運動は、全国的に広がっている。

「故郷の森」再生目指す

緑化事業発祥・筑波山（茨城）で植樹祭

筑波山神社の前で記念撮影する参加者たち

パネルディスカッション 「世界一木を植えた人」の声に耳傾け

茨城県・筑波山麓で10月11日、筑波山神社、NPO法人地球の緑を育てる会などでつくる筑波山水源の森づくり実行委員会主催の第7回植樹祭が開かれた。

筑波山は「全国緑化事業発祥（昭和9年）の地」であり、北西麓の桜川市に記念碑もある。植樹祭の舞台は筑波山神社南西麓だ。山中の荒廃したスギ、ヒノキ、マツ、雑木など針葉樹林の水源涵養林と生態系にかなった複層林の再生が目的で、約1000平方㍍に2500本を植栽した。

同実行委はこれまでに延べ2000人以上のボランティアが主にシイ、タブノキ、カシなど17種2万本以上を植樹してきた。多数のボランティアが毎週日曜日、30年間無間伐で育ちの悪いスギ、ヒノキ、マツなどを間伐して土留めに使い、6000平方㍍の植栽地を造成。98％以上が活着してすくすく育っている。

植樹の後、午後は同神社拝殿で「これからの森林再生をどうするか」をテーマにパネルディスカッション。「鎮守の森」の著書もある宮脇昭横浜国大名誉教授、島田泰助前林野庁長官、岸井成格毎日新聞主筆、村上和雄筑波大名誉教授、青木正篤国土緑化推進機構常務の5人がパネラーを務め、経験などをもとに、緑や環境、国土保全の重要性をアピールした。

多数のボランティアが参加

中でも㈶国際生態学センター所長として国際的にも知名度の高い宮脇名誉教授は、現場第一主義を貫き国内外1600カ所にも及ぶ植樹を実践してきた第一人者。その土地に最も合った主木（主に照葉樹）を複数選んで混植、密植することで、それぞれの樹木が異なった特性を生かしながら、植生が回復される宮脇方式の提唱者だ。まさに「故郷の森」の再生であり、鎮守の森復活につながる。「世界一木を植えた人」として知られるだけに、参加者は興味深く耳を傾けていた。

日本で照葉樹林が残るのは鎮守の森だったが、都市化の進展で全国的に次々に姿を消している。鎮守の森は、平時は人々の憩いの場、緊急時は避難場所として機能していた。高台にあって洪水や水害に強く、根を張った樹木や竹やぶで守られた大地は、土砂崩れや地震に強い。木は火よけにもなり備蓄食糧で自給できる。避難民はそこで正確な情報が得られ、情報発信基地にもなった。

「新・鎮守の森」も普段は地域住民の憩いの場として公園的役割を果たし、緊急時は避難場所、防災拠点になる。その土地、その気候にあった樹木が茂る故郷の森を再生させるのが「新・鎮守の森構想」だ。

地域振興・地域連携を目指す「道の駅」は「新・鎮守の森構想」の舞台にふさわしい。今こそ、鎮守の森を甦らせなくてはならない。

地形図など 災害復興に寄与

調査班を派遣　地震・水害　災害情報 提供

国土交通省 国土地理院 Geospatial Information Authority of Japan

明治以来の地理データ保有

国土交通省国土地理院は、地震や水害などの大規模災害時には災害対策基本法に基づき、被災地域の地図や被災状況データを、政府や自治体の災害対策本部に提供するなど重要な役割を果たしています。こうした情報はホームページで公開されていますが、どんな情報がどのように提供されるか紹介しましょう。

地震などで大規模な被害が発生した場合、被害状況を一刻も早く把握して避難や救急救助、復旧策を立てることが何より重要です。国土地理院は、明治以来100年以上にわたり作成してきた2万5000分の1地形図など様々な地理空間情報を、首相官邸はじめ災害対策関係機関に「電子国土Webシステム」を通じオンラインや印刷出力して提供します。

平成20年6月14日午前8時43分に発生した岩手・宮城内陸地震では、4分後に院内に災害対策本部を設置し、9時20分には官邸や内閣府、警察・消防庁などに震源地周辺地図をオンライン配信しました。さらに、現地に派遣した調査班からの写真や報告データ、保有する測量用航空機「くにかぜ」を飛ばして撮影した写真を地図に重ね合わせて表示し空中写真などから、地滑りや土石流がどのように発生し被害を与えたか詳しく調べ情報提供しました。

岩手県栗原市・駒の湯温泉を襲い多数の死者を出した土砂崩落と土石流の状況は、18日午後2時に公表しました。土砂崩落は東栗駒山の標高1360㍍斜面で発生。長さ約200㍍、幅約300㍍、厚さ約30㍍、土砂量約150万立方㍍（東京ドーム約1・2杯分）が高低差190㍍の斜面を崩落した後土石流となり、標高差約800㍍の沢を一気に4・8㌔駆け下り駒の湯温泉を壊滅させました。

大きな水害の場合も同様に被害状況が提供されますが、大雨から河川はんらん、堤防決壊、人家などの被災までは多少時間的余裕があるので、こうした情報を避難や救急救助に活用できます。

最近は自治体などで洪水が起こった際の想定浸水深や避難所の位置などを地図に表した洪水ハザードマップを作り住民に配布するところが増えてきました。これらは国土地理院が作成した地形分類・地盤高線・防災関連施設などを表示した土地条件図を利用しています。

昭和34年の伊勢湾台風による高潮洪水を機に、低地の地形分類が洪水の予測に役立つことが分かって作成を始めたものです。

平成16年7月の梅雨前線による新潟豪雨災害では、新潟県三条市の信濃川支流、五十嵐川の破堤によるはんらん水は水はけの悪い後背低地にたまり、これが溢れて下流に流れ出たことが空中写真でも確認されています。

■HPで公開

土地条件図は国土地理院のホームページで公開しています。低地の地形分類などを調べたうえで各市町村のハザードマップを見ると、どう避難すれば安全か分かるのでご活用ください。

駒の湯温泉を襲った土石流の情報

新潟豪雨災害の浸水範囲＝新潟県三条市金子新田、朝日航洋（株）撮影

列島保全への課題

わが国、国土のすがた

④大規模地震と豪雨への備え

本紙第29号で、わが国は地震が頻発するプレート境界線上に位置し、東京や大阪などの大都市はほぼ軟弱地盤上に位置しているのに対し、私たちが競争相手としているヨーロッパのパリやベルリン、ロンドンといった都市は、軟弱地盤上になく、そこでは地震も起きない、と説明した。今後わが国で発生が想定される大規模地震によって、どの程度の被害が生じると懸念されているのだろうか。

甚大な被害 隣り合わせ
いつ発生してもおかしくない

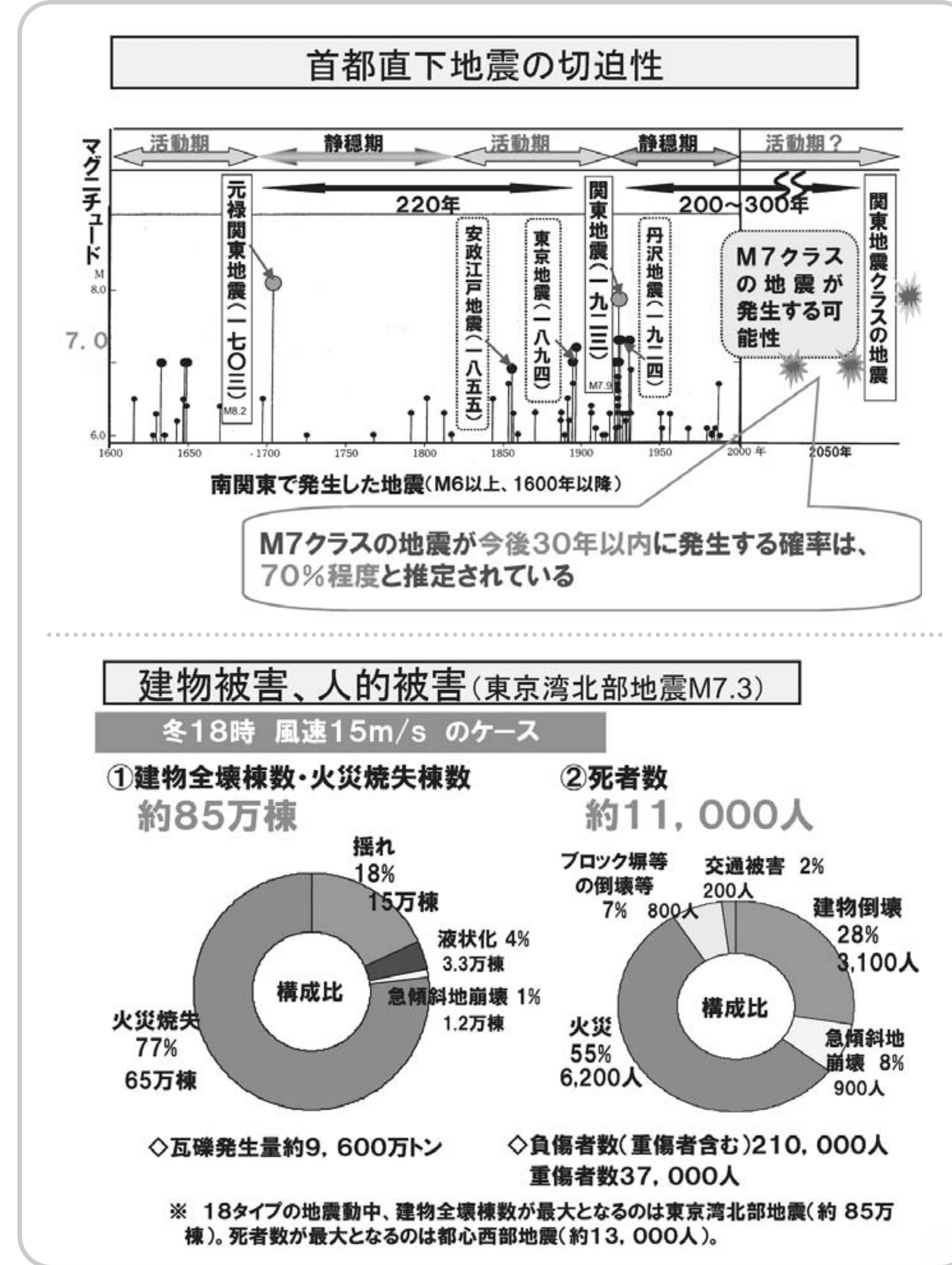
大地の活動活発

平成17年7月に政府がとりまとめた中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」報告によると、マグニチュード7クラスの首都直下地震が今後30年以内に発生する確率は70%程度と推定されており、この地震による被害想定は、死者約1万1000人、建物全壊と火災焼失棟数約85万棟、経済被害額は間接被害を含め約112兆円と見積もられている。

15年にまとめられた東海地震及び東南海・南海地震の被害想定をみても、［東海地震］死者約7900～9200人、建物全壊と火災焼失棟数約26万棟、経済被害額は最大約37兆円、［東南海・南海地震］死者約1万2000～1万8000人、建物全壊と火災焼失棟数約33万棟～36万棟、経済被害額は最大約57兆円と見積もられている。

とりわけ東海地震の想定震源域では概ね100～150年の間隔で大規模な地震が発生しているが、直近の安政東海地震（1854年）以降、既に150年以上大地震が発生していないため、いつ大地震が発生してもおかしくない。

これは「関東、中部地方の最近一週間の地震活動」（気象庁データ＝1面参照）を見れば一目瞭然で、これだけ大地が活発に活動していれば、大規模地震はいつ発生してもいいといえる。



出典：内閣府資料「首都直下型地震対策について」

降雨はゲリラ化

もう一つの課題「豪雨」の程度とその影響はどうか。わが国は、古事記で「豊葦原瑞穂（とよあしはらみづほ）の国」と呼ばれているように、歴史的に水資源に恵まれた国土環境にある。現実に、わが国では平均的に年間約1700ミリの雨が降り、地球の総平均の約2倍もの年間降雨量がある。

そして、日本列島の背骨にあたる部分には、急峻な脊梁山脈が通っており、その脊梁山脈から発してこの幅の狭い本州を脊梁山脈の南北に流れ分けているため、河川はきわめて短く、降った雨はすぐに海に出てしまう。このため、洪水が起こる時は一気に大量に水が流れのが特徴である。

日本の降雨は、梅雨末期と台風期に集中して降るという特性を持ち、さらに難儀なことに、最近の地球温暖化は、降雨のゲリラ化をより顕在化させている。かつて観測されなかったような一時間に100ミリから200ミリ近い雨がいろんな所で降るとか、半日で一年分の半分も降るなどの豪雨が、最近の洪水や河川に災害を発生させている。

その上、東京や大阪など日本の大都市は、河川の水位より低いところに位置しており、東京の江戸川や荒川が破堤した時は、東京は下町を中心に多くの地域が浸かってしまう。大阪でも淀川や大和川が破堤すれば、大阪は全部水に浸かることになる。

今年4月、内閣府が設置した「大規模水害対策に関する専門調査会」では、首都地域における大規模水害の被害状況についてのシミュレーションと、被害を最小限に食い止める対策などを検討し、報告書「首都圏水没～被害軽減のために取るべき対策とは～」をとりまとめた。

これによると、首都圏で過去最大規模（昭和22年のカスリーン台風並み、3日間で300ミリ）の豪雨が発生した場合、被害想定は、利根川及び荒川の決壊、これに伴うインフラ停止、首都機能麻痺、2週間にわたる大規模な浸水、最悪で死者約6300人、孤立約110万人という恐ろしい結果になっている。

このように、わが国は大規模地震と大規模水害と常に隣り合わせにある現状を十分認識し、国、地方公共団体、地域、個人のそれぞれが、こうした発生しうる事態に対して日頃から備えていく必要がある。

五島列島

電気自動車で小さな旅
道の駅「遣唐使ふるさと館」

この夏、長崎から五島列島(福江島)に渡った。沖縄にも勝る蒼く澄んだ海とそれを取り巻く教会群。それが五島の魅力だ。

島に浮かぶ小さな教会を「環境」に配慮した電気自動車（EV）で楽しんでもらう、そんな環境と観光が協奏する実証実験事業が今年4月から始まり、レンタカー約100台が導入されている。

地図を広げれば五島列島の福江島だけでも、国道384号を取り巻くように約20の教会がひしめいている。これらは現在、世界遺産暫定リストに登録されている。小さな島に小さなEVで小さな教会をめぐる旅。自分の好みにあった幾つかの教会にゆっくり立ち寄る、それぐらいのペースで進むのがEVにとってもちょうどよい。

出発前に「フル充電の状態で約100キロ程度しか走れません」と説明があり、こまめな給電を勧められた。給油所ならぬ給電施設は、福江島に4カ所ある。その一つが、道の駅「遣唐使ふるさと館」に配置されている。

給電は「セルフ」。キャップ口を開け、ややズッシリと重量感のあるコンセントを挿し込む。「急速充電」という約80%回復を制限とする充電方法を選択したが、ガス欠ならぬ電欠寸前であれば40分ほど充電時間がかかった。

都会の生活で40分の時間をエネルギー補充のために待つことは耐え切れないが、西海に浮かぶ五島にあっては、そんな待ち時間も休息を兼ねてちょうどよい。あたかも充電時間は、かつて命懸けで大陸にわたった遣唐使たちの風待ち・潮待ちの時間にも似ている。

島内での充電費用は何回でもタダだった。それも、実証実験事業ということであって、勘違いしていけないのは、電気代がタダ、つまり環境に配慮している、ということではない。

本土から送られている電気の源は、まだ環境エネルギーではない。しかし、将来構想として本土のハウステンボスに太陽光発電所が建設され、併せて島に増強されている風力発電とも合算し、ゼロエミッションのエネルギーサイクルを目指すという壮大な計画がある。

（国道愛好家・松波成行）

㊦五島の教会㊨道の駅で給電

「道の駅グリーンプロジェクト」

地域へ学びの場 提供

緑の募金
防災教室

各駅から賛同の声続々

世界でも有数の豊かさを誇る反面、木材価格の低迷などにより、荒廃が目立ち始めている日本の森林。社団法人国土緑化推進機構は、その保全と再生を進めて続発する土砂災害から国土を守るとともに、森林の持つCO_2吸収力を高め地球温暖化防止にも貢献する「緑の募金」活動の盛り上げに取り組んでいる。

第１回のラック贈呈式を予定している道の駅「ゆうひパーク浜田」。伝統芸能・石見神楽の伝承にも力を注ぐ道の駅だ

防災問題や、森林活用問題を積極的に報じてきた本紙もこれに呼応して同機構などと連携し、道の駅での「緑の募金」活動や防災教室など、学びの場づくりを実施する「道の駅グリーンプロジェクト」を今夏から本格的に展開し始めている。

その一環として8月、全国の「道の駅」に、協力を呼びかける文書を送り、駅長さんらにアンケートを実施したところ、たくさんの賛同の声が寄せられたので、その反響を紹介する。

募金箱付きラック設置を

呼びかけでは、森林保全と再生が急務になっている現状を訴え、地域の拠点として急速に全国に広がる道の駅での「緑の募金」活動の展開が大きな力になると考えて、各道の駅の賛同と協力をお願いした。

具体的には、道の駅の情報機能拡充にも役立つようにと、本紙をはじめ周辺地域の緑に関する情報や募金の使途についての報告などもまとめて配置できる特製の「緑の募金箱付き新聞ラック」を実験的に設置してもらえるかどうかなど、アンケート方式でお尋ねした。この結果、10月20日現在、呼びかけ文を送った951駅の4割近い355駅から回答をいただいた。実にその7割弱にあたる233駅が「設置に協力したい」または「実験的設置に協力する」と積極的な賛同、支持を表明してくださった。

残りの回答も、「協力したいが場所がない」など、趣旨には賛意を示す回答が大半だった。また、設置するだけでなく連携して募金活動推進に協力していただけるかとの一歩踏み込んだ依頼にも、「実験的に」も含め199駅が協力を申し出てくださった。

「場所がないからラックは設置できない」という駅であっても「手間が掛からないなら協力してもよい」との回答があり、これらを含めると全駅の3割近い計274駅が、何らかの形で募金活動の推進に賛同していることがわかった。

「短期間にこんなにも多くの協力が得られるとは、さすがに地域振興のけん引役である道の駅ですね」と同機構も驚いている。

道の駅側も意欲十分で、「緑の募金箱付き新聞ラック」の設置による情報発信機能の強化や、環境問題に貢献できる効果を期待する声も出ている。

本紙は同機構などと連携して、順次道の駅に「緑の募金箱付き新聞ラック」の設置を進める方針で、11月には、道の駅「ゆうひパーク浜田」（島根県）で、ラックの贈呈式を予定している。

「道の駅」から寄せられた主な反響

▼「これを機に道の駅利用者の皆様が、周辺にある１万700ヘクタールという日本最大級のブナ林保全などに関心を持っていただけたらと思います」（北海道島牧村の道の駅「よってけ！　島牧」）

▼「観光にとって地域・環境は大切です。利用者とともに私たちも道の駅の役割を考えていきたいから」（山形県鶴岡市の道の駅「月山」）

▼「独自の緑化に取り組み、『ハナモモの森』をつくっていますので」（岐阜県中津川市の道の駅「きりら坂下」）

▼「緑を守る活動に協力したいから」（和歌山県田辺市の道の駅「水の郷日高川龍游」）

新しい農業 問いかける
生きもの調査全国大会 in 秋田

田んぼに水が無いときに生きものが逃げ込む「江」

生きもの調査全国大会が11月3日、秋田県北秋田市で開催される。10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されたばかりで、今後、生物多様性について様々な議論が国民の間にひろがると予想している。

この大会はその直後のイベントであり、生物多様性に対する地域からの取り組みに対して一石を投ずるものになる。

田んぼの生きものを育む魚道や江を設置し、生きもの調査をしながらお米づくりをするという、新しい農業の姿を国民に問いかけることを目的としている。

これまで産業政策の隅に追いやられていた第1次産業が、実は生物多様性の価値転換の最先端を行く、ということを内外に明らかにする大会なのだ。

生物多様性の本質は、人間を中心とした現在の価値体系そのものであり、地球は種の相互依存によって成り立っているという、地球の原則を意識して行動することだ。

しかし、「絶滅危惧種の保護」「外来生物の問題」など、生物多様性を取り巻く課題はまさに多様で、把握するのは容易ではない。

この大会は、生物多様性への理解を深める機会となるだろう。

関心のある方は、特定非営利活動法人生物多様性農業支援センターのホームページ（http://www.basc.jp）を参照していただきたい。

（原耕造・NPO法人生物多様性農業支援センター理事長）

AED寄贈 地域の安全に尽力
普及と操作習熟を

社団法人日本道路建設業協会中国支部（中村満治支部長）は10月4日、道路利用者や地域住民の安全安心に役立ててほしいと、山口県萩市の道の駅「ゆとりパークたまがわ」にAED（自動体外式除細動器）1台を寄贈しました。萩市役所で同日行われた贈呈式で、「ゆとりパークたまがわ」運営会社の社長を兼ねる野村興児市長は「さっそく今日から大事に使わせていただきます」と挨拶。中村支部長に感謝状を贈りました。

協会と会員企業は平成19年以来、地域社会の利益と発展に尽力することを目指し、さまざまな社会・環境貢献活動を進めています。今回もその一環で、道の駅にAEDを寄贈する活動は全国8支部で手分けして推進し計23カ所になりました。協会は今後も全国の道の駅にAEDの寄贈を続ける方針です。

AEDは、心筋梗塞などで心臓が突然けいれんを起こして血液を送れなくなった場合など、電気ショックで心室細動を除き正常に戻す装置です。心臓発作直後1分以内にAEDを使えば90%の人が助かるものの、1分遅れるごとにその確率は10%程度減っていくといわれます。

かつては医師以外の操作は認められませんでしたが、16年から一般市民でも緊急時に使用できるようになり、公共機関や空港、鉄道駅などでの設置が進み始めました。しかし、119番通報から救急車到着までは平均6分余なので、AED普及と、一般市民の操作習熟が望まれています。

◇　◇

AED寄贈道の駅は次の通り。

マオイの丘公園、ぐるっとパノラマ美幌峠（北海道）／石鳥谷（岩手）／三本木（宮城）／おがち（秋田）／にしあいづ（福島）／おかべ、はにゅう（埼玉）／やちよ、とみうら（千葉）／豊根グリーンポート宮嶋、伊良湖クリスタルポルト（愛知）／奥熊野古道ほんぐう（和歌山）／東近江市あいとうマーガレットステイション（滋賀）／神話の里白うさぎ（鳥取）／ゆうひパーク浜田（島根）／黒井山グリーンパーク（岡山）／よがんす白竜（広島）／ゆとりパークたまがわ（山口）／津田の松原（香川）／今治湯ノ浦温泉（愛媛）／許田、豊崎（沖縄）

JRCA 社団法人 日本道路建設業協会

道の駅から訪ねる 光のファンタジー15選

寒さと共にさえる空気、輝きを増す光。歴史的建造物、庭園、自然景観などをライトアップさせるイベントが注目されている。昼とは一味違う幻想的な世界を漆黒の闇に浮かびあがらせる「光のファンタジー15選」を道の駅から訪ねてみた。

小見出しは光のイベント、所在地、最寄りの道の駅、駅の電話番号の順。文末のカッコ内は、高速道路ＩＣから道の駅に至る主なルート。

1 はこだてクリスマスファンタジー　北海道函館市
なとわ・えさん　☎0138・85・4010

函館の冬を飾るのはクリスマスファンタジー。12月１～25日まで海に浮かぶクリスマスツリーがイルミネーションで飾られ、港函館の異国情緒を味わえる。

同市元町地区の函館ハリストス正教会、カトリック元町教会、函館聖ヨハネ教会は通年でライトアップされている。（道央道落部ＩＣからＲ278）

巨大なクリスマスツリーは、カナダの姉妹都市から贈られた樅の木を使って作られている

2 龍泉洞　岩手県岩泉町
いわいずみ　☎0194・22・4432

龍泉洞は日本三大鍾乳洞のひとつ。全長は5000㍍以上といわれ、地底湖がある。

昨年秋から始めた洞内の月宮殿と第１地底湖展望台のライトアップ＝写真②＝が好評。来年１月から拡張工事に伴い３カ月間、見学が出来なくなる。観覧料大人1000円、小中学生500円。（東北道盛岡南ＩＣからＲ455）

3 湯畑ライトアップ　群馬県草津町
草津運動茶屋公園　☎0279・88・0881

温泉街の中心にある湯畑は、草津のシンボル。毎分4000㍑の温泉が湧出、湯煙りを舞い上げている。

11月20～来年３月31日まで湯畑周辺はイルミネーションで飾られ、３月10～13日には湯畑内から特別ライトアップ。刻々と変わる湯煙りをとらえようとカメラ片手の観光客が詰め掛ける。（関越道渋川伊香保ＩＣからＲ292）

4 おぢや風船一揆　新潟県小千谷市
ちぢみの里おぢや　☎0258・81・1717

第35回白と光の祭典おぢや風船一揆は来年２月26、27日開催の予定。日本を代表する熱気球大会「日本海カップ・クロスカントリー選手権」を兼ねている。

真っ白な雪野原を舞台にカラフルなバルーンが大空への挑戦を続け、夜になると熱気球に照明がつき、幻想の世界を作り上げる＝写真④。（関越道小千谷ＩＣからＲ17）

5 洲埼灯台　千葉県館山市
南房パラダイス　☎0470・28・1511

東京湾の入り口にあり観光ポイントになっている洲埼灯台は、大正中期に建てられた海のまち館山のシンボル。

昼は富士山、天城、伊豆大島などを見ることができる。夜にライトアップされると白亜の円形灯台が夜空に浮かぶ。（館山道富浦ＩＣから房総フラワーライン）

6 松本城　長野県松本市
風穴の里　☎0263・94・2200

戦国時代から400年余りの風雪に耐える日本最古の城。天守閣からは北アルプス常念岳などが遠望できる。

通年でライトアップされ、桜の季節には周辺にも広げられ、桜と天守閣が同時に楽しめる＝写真⑥。

城内の観覧料は大人600円、小中学生300円。（長野道松本ＩＣからＲ158）

7 氷の塔と雪のオブジェ　岐阜県高山市
ひだ朝日村　☎0577・55・3777

道の駅の名物イベント・氷の塔と雪のオブジェのライトアップは１月下旬～２月上旬。

高さ15㍍の足場をベースに氷点下15、16度の深夜、駅職員が散水を続けて氷のタワーを作り上げる苦心の作。地元有志が手造りした雪のオブジェも飾られる。（中部縦貫道高山西ＩＣからＲ361）

8 五箇山合掌造り　富山県南砺市
上平　☎0763・67・3141

同市五箇山の合掌造り集落は世界文化遺産。相倉集落（20棟）は11月18～21日、菅沼集落（９棟）は来年２月６日ライトアップされる＝写真。

相倉、菅沼集落のライトアップ当日は五箇山民謡「こきりこ節」や「麦や節」が披露される。（東海北陸道五箇山ＩＣからＲ156）

9 兵主大社庭園　滋賀県野洲市
竜王かがみの里　☎0748・58・8700

同市五条の兵主大社庭園は、紅葉が見ごろとなる11月12～14日、19～23日にライトアップ（18～21時）される。同時に拝殿前の参道では「未来あかり」のイベントも＝写真⑨。

この庭園は平安時代に作庭された国指定の名勝。池をめぐる小道は昔の庭を縫って造られており、池に映る紅葉が鮮やかな秋を演出する。ライトアップ期間中の入園料は大人500円、高大生300円。（名神高速竜王ＩＣからＲ8）

10 赤れんが倉庫群　京都府舞鶴市
舞鶴港とれとれセンター　☎0773・75・6125

同市にある赤れんが倉庫群12棟のうち、市政記念館、まいづる智恵蔵などは２年前から通年でライトアップされている。

旧日本海軍の弾丸庫や小銃庫などだった倉庫はライトアップで明治の重厚さを倍増する。（舞鶴若狭道舞鶴西ＩＣからＲ175）

11 砂丘　鳥取市
神話の里白うさぎ　☎0857・59・6700

恒例の砂丘イリュージョンは12月11～26日まで。砂丘入口付近、巨大な砂山の「馬の背」をイルミネーションで彩り、ロマンチックな光の空間を創造する＝写真⑪。

世界的なデジタルアーティスト長谷川章さんのデジタル掛け軸も同時開催される。（中国道作用ＩＣからＲ９）

12 瑠璃光寺五重塔　山口市
仁保の郷　☎083・929・0480

同市の瑠璃光寺五重塔（国宝）、サビエル記念聖堂は通年でライトアップされ、観光のシンボルとなっている。

約550年前、山口在住の外国人宣教師らがクリスマスを祝ったのが、日本のクリスマスの起源。地元では「日本のクリスマスは山口から」イベントとして11月24日～12月25日まで新亀山公園ふれあい広場周辺でライトアップをする。（中国道山口ＩＣから　Ｒ376）

13 ヤシの木　高知県香南市
やす　☎0887・57・7122

道の駅は、海浜公園のヤ・シィパークと、ごめん・なはり線夜須駅に隣接しており、利用者にとっては便利な複合施設。

施設内には40本を超えるワシントンヤシがあり、道の駅の目の前、海岸に向かって伸びるプロムナード沿いの高さ17㍍のヤシ12本は、日没と共に赤・青・緑など６色のライトで南国ムードに染まる。イベント期間は12月１日～12月30日。（高知道南国ＩＣからＲ55）

14 くじゅう花公園　大分県竹田市
竹田　☎0974・66・3553

春から秋にかけ花が咲き誇り人々を魅了するが、冬季対策として昨年から始めた久住高原光ファンタジーが大好評。

発光ダイオードが音楽に合わせて色彩を変えながらキラキラと輝き、夜のお花畑を作り出し、昨年は３万人が訪れた。今年は11月13日～12月26日の期間を予定している。入園料大人600円、５歳から中学生300円。（大分道九重ＩＣからＲ40経由Ｒ442）

15 古閑の滝　熊本県阿蘇市
波野　☎0967・24・2331

厳冬期の阿蘇の見どころは草千里の樹氷、仙酔峡と古閑の滝の氷柱。なかでも阿蘇カルデラ東壁にある古閑の滝は落差100㍍の女滝、同80㍍の男滝が凍結し、氷の芸術品となる。

ライトアップは１～２月の土曜日を予定、仲良く並んだ女滝、男滝が光り輝く。（九州道熊本ＩＣからＲ57）

橋がつなぐ　みんなの未来
社団法人　日本橋梁建設協会
http://www.jasbc.or.jp/

橋がつなぐ みんなの未来 vol.13

Bridges bring our brighter future.

新シリーズ　道の駅と日本の橋 3

技術や機能の美しさを浮き彫りにするライトアップは、見る人の気持ちに訴えかけ、見慣れた風景も、別の顔を見せてくれるはずです。

あなたの「気になる橋」をお寄せください。

読者の皆さまの気になる橋をご紹介ください。ご当地自慢の橋、その橋にまつわるエピソード、橋の疑問などなど、橋にまつわる事なら大歓迎です。

宛先
〒153-0064
東京都目黒区下目黒3-5-16 パームコート1F
NPO人と道研究会
編集制作室 宛

白鳥大橋（はくちょうおおはし）　北海道室蘭市
道の駅「みたら室蘭」から約0.5㎞

白鳥大橋は、室蘭湾の吊橋。横からみると、の入り口絵鞆半島先端の祝津と対岸を結んでいる、国道37号線に架かる関東以北では最大の橋。

1998（平成10）年に完成。3径間2ヒンジ補剛吊橋（側塔付き）で2車線、全長は1380㍍。室蘭港に出入船を考慮し海面から桁下までの高さは54㍍を確保しています。主塔部の基礎岩盤が非常に深いため、特殊な工法が採用され、湾口に架設されて厳しい季節風にさらされるなど過酷な環境にあるため、耐候性、耐塩害性などにすぐれた塗料が採用されています。

湾とも呼ばれているのでこの名前がつけられました。

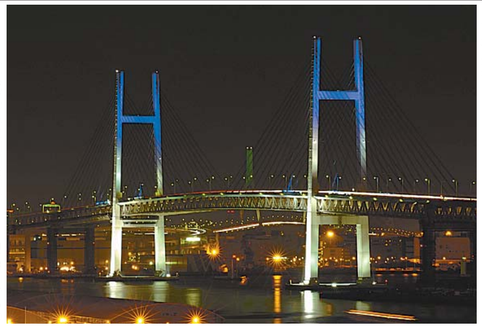
市内のほとんどのところから眺められますが、祝津公園展望広場からは室蘭湾は白鳥岳を背景にした絶景が楽しめます。

中でも圧巻なのは夜間のライトアップ。夜の下は大型船が往来する横浜国際航路となっています。

この橋が開通するまでの物流メーンルートは横浜、川崎、都心部など交通渋滞区間を通過していましたが、開通後は横浜港をまたいで直接通行できるルートとされています。

横浜ベイブリッジ（よこはま）　神奈川県横浜市
道の駅「箱根峠」から約78㎞

首都高速道路湾岸線の横浜ベイブリッジは、横浜港本牧ふ頭と大黒ふ頭を結び、横浜港を横断し、隣接の同線上の鶴見つばさ橋と並んで横浜港のシンボルともいえる存在。2層構造の斜張橋で、上層は首都高速道路、下層は国道357号線で、橋の下は大型船が往来する横浜国際航路となっています。お勧めビューポイントは港の見える丘公園。また、横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋をくぐりぬける山下公園発着の観光遊覧船からは雄大な橋の全容をじっくり見ることができます。



1989（平成元）年に開通。橋長860㍍、海面からの高さは175㍍、航行船舶が多い横浜航路を横断する工事で航行船舶の安全を含め、厳しい条件を乗り越えた工事でした。架橋地点の海底は支持層が深く、従来の工法では工事が困難なため、新たに開発した大口径掘削機が投入されました。

夜間のライトアップでは、主塔上部は毎時20分から30分、50分から00分の間、白色から青色に変わり、時を知らせる仕掛けになっています。お勧めビューポイントは港の見える丘公園。また、横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋をくぐりぬける山下公園発着の観光遊覧船からは雄大な橋の全容をじっくり見ることができます。

この橋は建設の構想から40年、着工から足かけ14年の歳月を要した、市民にとって悲願の橋。すぐそばの道の駅には白鳥大橋記念館が併設され、動く模型や写真などで白鳥大橋を紹介しています。

大橋と海面に沿うように輝くJX日鉱日石エネルギー室蘭製油所の灯りが一体となり、私たちを楽しませてくれます。ライトアップの電源にはエコな風力発電の電気が使われています。

名港（めいこう）トリトン　愛知県東海市・海部郡飛島村
道の駅「立田ふれあいの里」から約22㎞

1998（平成10）年に8年間の工事を経て開通しました。橋長は、名港西大橋は758㍍、名港中央大橋は1170㍍、名港東大橋が700㍍です。このうち名港西大橋は世界でも珍しい長大並列橋で、その間隔は風洞実験により風の影響を受けにくい50㍍とされました。

名古屋の新しいシンボルといわれる名港トリトンは、名古屋港を跨ぐ伊勢湾岸道路東海IC～飛島IC間に連続して架かる三つの橋の愛称。西側から名港西大橋、名古屋中央大橋、名港東大橋が連続する全6車線の海上斜張橋です。この規模の海上斜張橋が3つ連続しているのは世界でも珍しい事例で、名古屋の新しい観光名所です。

名港トリトンが跨いでいる名古屋港は、背後に広がる中部地方のものづくり産業の物流を支え、その貿易額は全国の10%前後を占めています。港の起源は東海道の宿場「宮の渡し」といわれ、江戸時代、三重県桑名まで海上八里をのんびり船旅していたのです。それが名港トリトンでは東海IC～飛島IC間はわずか4分、あっという間に海を渡ってしまいます。

名港トリトンは、名港西大橋は赤、名港中央大橋は白、名港東大橋は青の三色に色分けされ、名港中央大橋では秋の紅葉、冬は炎のイメージなど、四季折々のライトアップの演出がされています。ビューポイントは名古屋港金城ふ頭。じっくり見るなら湾内遊覧船が最適です。

橋のコラム　ライトアップの始まり

訪れる人の気持ちもあたたかくしてくれます。

まだ完成していないというのに、東京スカイツリーのライトアップの仮点灯には数百人の見物人が訪れ、点灯と同時に歓声とため息がもれたとニュースが伝えていました。ライトアップには、訪れる人の気持ちをなごませ、あたたかな気持ちにさせる魅力があるのですね。

アメリカではナイアガラの滝が約100年前からライトアップされていたといわれていますが、我が国での本格的なライトアップの始まりは、1963（昭和38）年神戸ポートタワーとされています。また神戸では、1995（平成7）年1月の阪神・淡路大震災後に「復興神戸に明かりを灯そう」というかけ声のもとに、亡くなった方々の鎮魂と追悼、街の復興を祈念し、さらに震災で激減した神戸への観光客を呼び戻す目的で、神戸の冬を彩る荘厳な光の芸術作品「神戸ルミナリエ」が開催され、その後毎年催されるようになりました。

東京で1989（平成元）年に、照明デザイナー石井幹子氏による東京タワーのライトアップを機に、ライトアップが話題となり、各地で建造物の他にも庭園、花見、紅葉などのライトアップが定着するようになりました。

最近では環境にも優しいLEDも使用されるようになり、今年リニューアルしてライトアップも一新された神戸ポートタワーにもこのLEDが使用されています。

旅人　橋之助

話題の道の駅

こんにちは

道の駅 ふくしま東和
富樫隆二店長（60）
＝福島県二本松市太田字下田２－３
☎0243-46-2113

福島県二本松市は2005年12月1日、二本松市、安達町、岩代町、東和町の4市町が合併して誕生した。高村光太郎の「智恵子抄」で謳われた安達太良山を西に望み、日山、羽山などの阿武隈山地を西に配する風光明媚な土地柄だ。

旧東和町の中心部を縦断する国道349号沿いに00年7月に「道草の駅あぶくま館」としてオープンした道の駅「ふくしま東和」は、04年8月に道の駅に登録されたキャッチフレーズは「桑の里東和&東和げんき野菜満載の道の駅」。二本松市から指定管理委託を受けた地元のNPO法人「ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」が里山再生活動と共に道の駅運営にあたっている。

富樫店長は「東和地域は昔から国内有数の養蚕地。特産品直売所では、その東和産の桑の実を使ったアントシアニンたっぷりのリンゴ酢入り桑の実ジャム（1瓶150㌘入580円：直売価格や、各農家の食卓に並ぶ自主基準の〝東和げんき野菜〟を販売し、遠くからのお客様にも大好評です」と話す。

「和食みちくさ亭」では地元産の桑の葉パウダー・米粉・小麦粉で手打ちした緑の「桑うどん」（630円）がお奨めで、手作りジェラートショップ「NATURE」ではヘルシーな地元の野菜や桑の実・葉が入ったジェラート（Sサイズ：280円）が大人気。期間限定のいちじく・焼き芋・きゅうり・さくらなどは売切れ御免。

11月6～7日には「収穫大感謝祭」を予定。富樫店長は「親子のように連なったサツマイモなど面白野菜を集めての珍評会や東和げんき野菜を存分に使った大鍋を用意して盛り上げる」という。

〝げんき野菜〟満載

また、地元の語り部である紺野雅子さんが「河童や神隠しなど家族で楽しめる東和の昔話」を毎月1回聴かせてくれるのもこの駅の特長だ。

東に位置する羽山（標高897㍍）は富士山が見える北限の山として知られ、季節ごとにリンゴやさくらんぼ狩りができる。

12月4～5日に行われる「木幡の幡祭り」は950年の歴史と伝統を持つ日本三大旗祭りの一つで、国の重要無形民俗文化財に指定されている。前九年の役、天喜3（1055）年、源軍勢が戦いに敗れ、わずか数騎で木幡山に立てこもった際、一夜にして全山が雪で白くなった様を追ってきた安倍軍勢が源氏の白旗と見間違い、戦わずして敗走した故事による。五色に彩られた五反旗が山岳を駆け巡る様子は壮観で優雅だ。

道の駅「のとじま」

日本海に鍵状に突き出した石川県の能登半島。その付け根部分の波静かな七尾湾に抱かれるように位置するのが当駅である。全国でただ1個所、野生のイルカウォッチングを楽しめる道の駅として異彩を放ち、ピカソなど巨匠のデザインしたガラス作品と出会え、さらにマイガラス作り体験をできる「ガラスの道の駅」としても知られる。

おぼしき野生の2頭が流れ着き、住民が温かく見守るうち次々と子どもを産んで現在は一家6頭が回遊している。

イルカウォッチングは地元船頭が案内する船に1グループ5～10人に分れ、船の真下をくぐったり船べりまで近づいてジャンプを披露したりする。イルカ保護のため笛などの鳴り物や大きな物音はご法度、えさも禁止である。

周遊コースは3種類。ウォッチングだけなら中学生以上1500円（小学生以下700円）、オプションとして当駅での食事、さらに駅から車で5分の「ひょっこり温泉島の湯」入浴利用を加えると、中学生以上2600円（小学生以下1500円～1600円）。悪天候やシケで中止になるケースはめったにないが、特産品販売所や食事処も備えた当駅交流市場に利用3日前に予約・問い合わせるのが無難。万一イルカに出会えなかったらウォッチングのみ料金の半額を返金してもらえる。

交流市場の北隣にあるのが能登島ガラス工房。大正時代に建てられた旧向田小学校跡を使い伝統的なガラス工芸を伝承伝授している。マイコップに挑む「吹き ガラス」（1個所要時間15～20分、料金3150円）、既成のガラスにすりガラス状の絵を付ける「サンドブラスト」（1時間、1050円）などの体験で思い出の品作りを楽しめる。予約がお勧めだが当日でも空きがあると利用できる。交流市場から西へ約1㌔歩いて上がると能登島ガラス美術館。良質な企画展で知られる美術館で、今も11月29日まで「国際ガラス展金沢2010in能登島」を開催中。来場者のお目当てがピカソのデザインしたガラス作品。

◆道の駅「のとじま」石川県七尾市能登島向田町1444－12▽交流市場営業時間9：00～17：00▽定休日12月～3月中旬は毎週木曜、12月29日～1月1日▽☎0767－84－0022◇ガラス美術館▽開館時間4月～11月9：00～17：00（12月～3月9：00～16：30）▽休館日毎月第3火曜、12月29日～1月1日、展示替え・整理期間▽高校生以上800円、中学生以下無料▽☎0767－84－1175◇ガラス工房▽☎0767－84－1180

道の駅「すくも」

ファイト！ 道の駅の挑戦

■経営＝宿毛市観光協会（浦中道弘会長）が運営■営業時間＝テナントごとにオープン時間も定休日も異なる■駐車＝普通50台、大型5台、身障者用5台■宿毛市中心部から車で3分、愛媛県宇和島市からは約1時間30分■高知県宿毛市坂ノ下1023の44（☎0880・63・5030）

活魚センター 骨とう品屋も

宿毛市は高知県の西部、愛媛県に接する。最大の観光資源は豊後水道に開かれたダイナミックな自然。11月から2月にかけて宿毛湾に落ちる「だるま夕日」は圧巻だ。高知市から車で国道56号線を西へ3時間あまり。宿毛市の市街地を抜け、同321号線をしばらく進むと、広い「すくもサニーサイドパーク」が見えてくる。

野外ステージ、遊具のある芝生公園などとともに、6棟の建物が迎えてくれる。

ドライバーの休息、地域の交流空間として、市が1993年に約4億4000万円をかけて建てた。第3セクター方式をへて、いまは宿毛市観光協会が委託管理している。

総合案内の管理棟（木造2階建て）のほか、木造平屋の展示棟5棟には六つのテナントが入っている。観光案内所にはだるまタ日や宿毛市の四季折々の写真を展示しているほか、地場産品、お土産などの紹介・販売をしている。道の駅としては珍しい骨とう品屋もあり面白い。

宿毛湾でとれた新鮮な魚介類が味わえる活魚センターには、思わず足が向いてしまう。いけすにタイ、ヒラメ、イセエビが泳ぎ、ツメタカ、チャンバラガイなどの貝類も。注文すればすぐ調理してくれる。おさしみ、タタキ、浜焼きなど、なんでもご代さん。

なんといっても最高のごちそうは、宿毛湾の水平線に沈む「だるまタ日」だろう。冷え込みが激しい晴れた日、暖かい黒潮の流れる海面からのぼる水蒸気で光が屈折し、海面にも太陽が映し出され、まるでダルマが顔を出しているよう。一種の蜃気楼現象らしい。冬の風物詩だ。地球が丸いことがよく分かる。そのシーズンはこれから。

「夕日ファンは全国から来ます。年間の駅の客は3～14万人くらい」と中田さん。宿毛市と豊後水道対岸の大分県佐伯市とはフェリーで結ばれ、四国だけでなく九州ナンバーの車や観光バスも少なくない。

また、敷地内には四国88カ所の霊場をめぐるお遍路さんの休憩所「茶堂」もある。

イベントにも工夫をこらす。毎春行う「宿毛市観光びらき」はたくさんの市民でにぎわう。フォトコンテスト表彰式や、今年は宿毛湾でとれた「アジのつかみどり大会」などを開いた。今後は宿毛のサンゴを使ったアクセサリーやストラップ作りなどの体験事業、観光客が参加できるインターネットを通した「旅行者スナップショット部門」を導入し、呼び込みに力を入れていきたい（中田さん）と話している。

宿毛湾の水平線に沈む〝だるま夕日〟は圧巻

㊤6棟の建物がある道の駅「すくも」
㊦子どもたちも参加してにぎわった「アジのつかみ取り大会」＝今年4月

国土学事始め

大石久和
早稲田大学大学院客員教授

これは旨慣れない言葉かも知れません。人は移動するとき、ある区間は車で、その先は鉄道や飛行機を使うというように、いろんな交通手段を用います。そこで道路や鉄道など交通施設の整備度合いを「人の出発地点から目的地までの全体でどのように時間短縮が図られたかを調べて、人の移動全体から評価しようという考えが出てきました。

そのため旧国土庁では「日本のある地点から、片道3時間（最近は片道4時間としています）以内にあらゆる交通機関を使って、全国に住む人々の何％の人に会うことができるか」という考え方を導入し、「わが国の交通全体の発達度」を評価するために「一日交通圏」という指標を考えたのです。

一日交通圏

3～4時間で何人に会えるか

すぐにわかるように、東京は、羽田も近いし新幹線、高速道路も発達していますから、3時間かけることで全国の多くの人に会うことができます。ところが離島の人や、鹿児島や北海道の人はあまり多くの人に会うことができません。このようにこの指標は地域がもつ交通の利便性ポテンシャルを示すものともなっています。

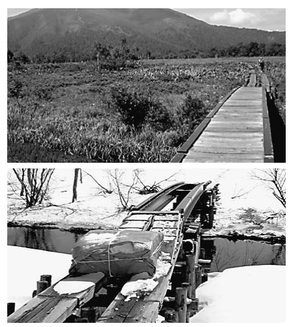
さて、この一日交通圏は、1965年の全国平均は28％でした。つまりこの当時は、日本人は全国平均でいえば、3時間かけて全国の28％の人に会うことができる移動能力を持っていたのです。ところが、2003年には、何とこれが63％にも向上したのです。大きな移動能力を手に入れて、わが国は移動が大変に便利になったのです。（08年には4時間圏ですが、68％に拡大しました）

しかし、この全国平均は人口による加重平均で算出していますから、大幅に改善されたというのは、東京や大阪、名古屋などが移動にきわめて便利な都市になったということが大きく効いています。ところが、四国、九州東部、紀伊半島などは昔と変わりません。平均して便利な国にはなったのですが、利便地域と不便地域の差は大きく拡大してしまったのです。（東京中心は96％、高知中村はわずか3％）

全国のすべての地域が同じ一日交通圏を持つことはできませんが、国民全体として受忍すべき格差とはどの程度なのか、いまこそ真剣な議論が必要だと考えます。

なるほどブリッジ ⑫

〝橋守〟たちに支えられる尾瀬の橋



群馬、福島、新潟、栃木4県にまたがる国立公園尾瀬には尾瀬ヶ原湿原を守る総延長65㌔の木道がある＝写真㊤。

木道には小さいながら原ノ川橋など5カ所の橋がある。草紅葉が終わる毎年11月初め、橋の冬対策が始まる＝写真㊦。

積雪が3～5㍍になり、雪の重みで橋が傷むので、橋板と鉄骨を固定しているボルトを緩め、橋板を取り外すなどして豪雪に備える。

ミズバショウの尾瀬を訪れる人たちを迎える春4月20日過ぎ、除雪が済んだ登山道で真っ先に駆けつける〝橋守〟たちの手で橋は元通りに復元される。

上橋（竜宮沼尻川橋）下の大堀

「人と道」を考えるアンケート

ご意見をお寄せください！

道21世紀新聞では、毎号「人と道」に関する読者のご意見を募集し、人と道のあり方を共に考えるコーナーを設けています。第30号は『道の駅と防災のアンケート』を実施します。

寄せられたご意見は、道21世紀新聞でご報告させていただくほか、行政や「道の駅」関連諸団体にも提供し、今後の「道の駅」ならびに近隣地域活性化に供する資料として活用いただくことを働きかけます。ご回答はすべて統計的に処理し、結果のみを公表し、個人を特定できるデータを外部に開示することは一切いたしませんので、どしどし遠慮なくご意見をお寄せください。

なお、今回のアンケート回答者の中から抽選で30名様に記念品を贈ります。

第30号『道の駅と防災のアンケート』回答用紙

Q１：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧
Q２：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧
Q３：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧
⑨（　　）
Q４：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧
⑨（　　）
Q５：a）　　県　b）（駅名）＿＿＿＿＿＿
お名前：＿＿＿＿＿＿（フリガナ：　　）
郵便番号：〒
ご住所：
お電話番号：　（　　）
性　別：男・女　年齢：　歳　職業：＿＿＿＿＿＿
通信欄（その他ご意見等がありましたらご記入下さい）

「道の駅と防災」についてのアンケート

今回は、本紙が創刊以来追求してきた「道の駅」と「防災」について、再度ご意見をお伺いします。

Q１．現在、「道の駅」は道路利用者や近隣地域に対して下記のような機能を備えていますが、知っていた項目の番号を全て選んで下さい。
①休憩施設機能（24時間開場、無料駐車場／トイレ、バリアフリー等）
②道路情報（経路）及び隣接「道の駅」の情報提供
③近隣地域の観光情報提供（周辺の文化や歴史、名物を含む）
④緊急医療情報提供（近隣の医療施設紹介）
⑤災害時の避難及び復旧活動拠点
⑥地域との連携機能（地域活性化活動拠点と地域間の交流促進）
⑦地域の優れた景観を損なうことのないよう十分に配慮して設置
⑧その他利用者の利便に供する情報

Q２．「Q１」の中であなたが最も重要だと思う機能は何番ですか（１つだけ選択）

Q３．「道の駅」が持つべき災害時の避難設備／機能はどれが必要と思いますか（重要なもの３つまで）
①備蓄食料／飲料の配給　②簡易宿泊設備（避難テント）
③被災情報の発信（帰路／避難交通ルート情報）
④帰宅難民車両および運転者受け入れ　⑤応急処置医療品
⑥自家発電設備　⑦簡易入浴設備
⑧インターネット設備　⑨その他（　）

Q４．あなたは罹災を想定して車に常備している防災用品がありますか（いくつでも）
①飲料／菓子類　②照明器具（懐中電灯）　③携帯電話用充電器
④道路地図帳　⑤携帯型トイレ　⑥携帯ガスコンロ
⑦毛布等防寒具　⑧カーラジオ以外積んでいない　⑨その他（　）

Q５．本紙はどこで入手されましたか。

ホームページ（http://www.route-press21st.jp）

応募方法	ご回答は回答用紙に記入し、枠に沿って切り抜き、はがき等に貼付し投函してください。ホームページからも回答できます。
締切日	平成22年12月15日
送付先	〒153－0064　東京都目黒区下目黒３－５－16　パームコート１Ｆ ＮＰＯ法人　人と道研究会　企画制作室　宛

第29号読者アンケート結果：『観光と道路交通について』

道の駅は「情報の交差点」であり、「学びの場」としても関心が寄せられている。

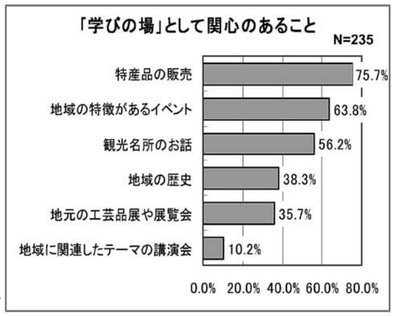
今回の読者アンケートは「学びの場」「情報の共有」という視点から『道の駅』についての関心事をお聞きし、235名の方から回答を得た。

☆「学びの場」としての関心事・・・・・・・！

道の駅の学びの場として関心の高かったものは、順に①『特産品の販売』75.7%、②『地域の特徴があるイベント』63.8%、③『観光名所のお話』56.2%、④『地域の歴史』38.3%、⑤『地元の工芸品展や展覧会』35.7%、⑥『地域に関連したテーマの講演会』10.2%となっており、旅と密接に関わる特産品、地域特有イベント、観光名所に関心が集まっている。

☆「情報の共有」からの関心事・・・・・・・・！

旅する人の「情報の共有」が財産である道の駅について関心のある事柄は①『休憩、温泉、買い物、飲食、宿泊情報の提供』が68.1%で最も関心がもたれており、以下②『旅に必要な気象、交通、防災情報の掲示施設の充実』21.3%、③『利用者の情報を入力、掲示する施設の設置』11.9%となっている。



☆学びの場についてのアイデア・・・・・・！

道の駅の学びの場について、読者の皆さんから、次のようなアイデアが寄せられた。

■具体的ではないのですが、双方向で情報が提示できるような、たとえば誰でも書けるような掲示板（インターネットではなく）で、そういった情報を掲示出来ればと思います。（神奈川県・29歳・男性）

■周辺の観光地について、行って来た人たちがロコミ情報を投稿できるパソコンを設置し、書き込んだ内容を公開したり、人気ランキングを発表したりすると、興味をもてると思います。（大阪府・32歳・女性）

■子供たちに色々な事を学んでもらいたいので、その土地土地の職人の技を見せてあげたい。職人さんと触れ合う機会を作ってあげたい。（福島県・45歳・男性）

■道の駅ウォーキングを「学びの場」として企画して欲しいです。その道の駅から5－10kmくらいのウォーキングでその名所をまわりながら、車のあるその駅まで。（埼玉県・58歳・女性）

平城遷都1300年祭

古代ロマン　花と古墳の共演

奈良・馬見丘陵公園

第27回全国都市緑化ならフェア　好評開催中

青海波の模様も鮮やかな馬見花苑

平城遷都1300年祭を祝う行事の柱の一つ、奈良県広陵町・河合町にまたがる馬見丘陵公園で開催中の「第27回全国都市緑化ならフェア（やまと花ごよみ2010）」は秋本番を迎えて無数の花々が咲き競い、祭典に華やかな彩りを添えている。9月18日から始まった同フェアは、既に入場者25万人を超える人気ぶりだ。

会場には自治体や団体、企業、個人や学生、子供たちまでが趣向を凝らして出展した200区画近い多くの花壇に、それぞれ工夫し丹精込めて育てた花々が、園内に妙なる香りを放っている。

奈良県内でも数百の古墳群を擁する一帯に整備された馬見丘陵公園は、訪れる人々に古代のロマンを伝えるだけでなく、古都奈良を文字通り「花の都」に変身させた。

フェアは「未来へつなぐ『花のもてなし』～やまと青垣からの贈りもの～」がテーマ。自転車道も整備された緑道「1300年の道」に続き「にぎわいの広場／集いの丘／花の都／未来の華／はじまりは奈良」と名付けた5つのゾーンがある。

圧巻は、花なら広場に続く花の都ゾーンの「馬見花苑」。会場で最も大きい花壇だ。波をデザインした古代からの紋様「青海波」をモチーフに、遣唐使が苦難を超えて渡った大海原を、鮮やかな色彩の花々で形作った。

奈良県はダリアの球根生産量が日本一。花の都ゾーンのダリア園には期間中、花の大きさが30～40㌢にもなり世界一の大輪という「エモリーポール」をはじめ、約200品種5000株が美を競う。

また確認されているだけで園内に8基ある大きな古墳のうちナガレ山古墳は、墳丘の半分を1600年前の築造当時の姿に再現。頂上に登ることもでき、大和平野を一望できる。古墳周辺には秋の七草をはじめとする「古（いにしえ）の風景庭園」も設けている。

フェアの期間中は、花なら広場で、自然に親しみながら楽しめる押し花カード作りなど、いろいろな体験教室（申込み受付は11月7日まで。材料費のみ）も連日の開かれて好評だ。

馬見丘陵公園は、緑あふれる新名所として新たな憩いの場になることは確かだ。都市緑化ならフェアは11月14日（日）まで（入場無料）。

ダリアの球根生産量日本一の奈良県を象徴するダリア園とダリアテラス

「秋の奈良レンタサイクル」

どこでも乗り捨て

環境に優しく

平城遷都1300年祭を機に、奈良県内の観光地巡りに自転車をもっと利用してもらおうと、レンタサイクル普及推進のため、9月から12月19日（日）までの金土日祝日（月～木は地域による運営）に、広域乗り捨て型レンタサイクルの社会実験が始まっている。「秋の奈良レンタサイクル」。爽やかな秋風を感じながら、奈良大和路をゆったりと自転車で観光してはいかがか。

レンタサイクルシステムを確立し、旅行客にゆっくり観光してもらうよう便利なサービスを提供するとともに、運営を地域団体に協力してもらうことで、地域おこし活動や地域情報の発信にも役立てる狙い。車の排ガスによる環境汚染の改善や観光地の交通渋滞の解消にも効果が期待できる。

鉄道で奈良県を訪れた旅行者は、どの地域に行っても自転車を借りて周遊観光を楽しみ、大和平野内ならどの鉄道駅でも乗り捨て出来る仕組み。自動車で来た人も、拠点となる駐車場では自転車に乗り換えられる。

役立つマップ

県や地域が作ったサイクルマップももらえる。観光地以外に、見所や店舗の案内など、それぞれ工夫を凝らした地図になっている。

また、地図に割引クーポンを付けるなど、地域による独自のおもてなしサービスも受けられる。

金、土、日、祝日は貸出自転車を、大和郡山／斑鳩／河合／桜井／田原本／橿原／御所の7地域に設けたポートのどこにでも返却可能。

種類も選べる

各ポートには電動アシスト付きとギア付きの自転車が各5台ずつ計10台用意されており、電話かホームページで予約する。

利用料は電動アシスト付きが1日1回1500円、ギア付きが同1000円。利用には身分証の提示が必要。

「秋の奈良レンタサイクル」で検索。

問い合わせは、電話＝0742－25－0710　ホームページ＝http://www.nara-cycling.com

レンタサイクルのパンフ

古都ブーム戦略継続

「巡る奈良」今後も

「はじまりの奈良、めぐる感動」――平城遷都1300年祭のキーワードだ。奈良県と平城遷都1300年記念事業協会のまとめでは、メーン会場の平城宮跡会場で来場者を250万人と見込んでいたが、開幕から181日目の10月21日、300万人を突破した。

特に「秘宝秘仏特別公開」などの「巡る奈良」事業は、予測を大きく超える1000万人以上の観光客が県内各地を訪れ、賑っている。

県は、集印状により国宝を巡るルートを紹介した「国宝巡礼まほろば手帳」をはじめ、スタンプラリー系事業の展開が観光客誘引に有効だった、との見方を強めている。

このため1300年祭が終わっても、この流れをキープして古都ブームを引き継ぐ戦略を継続、奈良への観光客動員を増やしたい考え。そのためにもレンタサイクルの充実などで「巡る奈良」を確立し、スタンプラリー系のマップを「道の駅」はじめ、主な地域観光拠点で入手できるようにするなど、ソフト面での整備をさらに進める方針だ。

進化するグリーン・ツーリズム

新たな都市型ライフスタイル

「カフェ・NOAH」　沖縄県那覇市

沖縄県那覇市の中心、首里城近くの閑静な住宅地に最近オープンした「カフェ・NOAH」。環境に配慮した新たなライフスタイルを目指すLOHASの思想を、上地正子さんが資産家の私邸を借りて具現化した。かつて大病を患い、医者の処方する薬漬けになる自分を変えたいと考え抜いた末、「食」のあり方を変えるしかないと気づいたという。まさに「医食同源」の発想だ。

20年前から徐々に広がりを見せるグリーン・ツーリズム。豊かな「食」や「農のある暮らし」を今に活かす、新しい農家や農村住民の手作りの交流ビジネス。極上の農家民宿や農村レストランの秀でた経営者の女性たちには、大病を経験した人が少なくない。

自らは農林・漁家でなくても、地元で有機農業に取り組む農家と連携、無農薬野菜をケーキやパスタの食材として活かすビジネスも、立派なグリーン・ツーリズムだ。

育児に追われる母親に息抜きの場所を提供し、学童保育も引き受ける。

NOAHの入口

民家を活かし医食同源

野菜素材のケーキも目玉

ゆとりの座席

ウサギも生まれた

新鮮無農薬野菜コーナー

学童保育室

幼児の遊び部屋

おむつ交換への配慮も

女性ならではの育児や福祉へのアプローチ。「少子化対策」など、国は大げさな政策を展開するが、必死に子育てをする母親の目線に立ったこうしたコミュニケーションの場作りこそが、次世代に繋ぐ大事な仕事であろう。

英国では「シティファーム」と呼ばれる大都市内部や郊外にある「農」の空間に、市民農園や小動物公園、冒険広場や保育園などが付置され、ボランティアスタッフのアイディアと支援で、多世代に亘る多様な人々に土や植物、動物と触れ合う場が提供されている。

NOAHは、その精神を活かそうとする「セカンドステージのカフェ」というべきもの。単なる喫茶店ではなく、人々の生き方が交差し、思いを同じくし、悩みを共有する仲間と繋がる。

店内には新鮮な無農薬野菜が丁寧にレイアウトされ、こだわりの安心食材を使ったケーキや軽食が、心のこもった器に盛られ、提供される。

食を楽しむ女性たちの表情も明るく、会話に花が咲く。東京でもこだわりのランチバイキングの店は女性で溢れ、「この人たちの夫は今何を食べて仕事をしているのだろう」と心配になるほど。

東北の山村に嫁いだジャーナリスト出身の女性が「田舎に欲しいのは、立派な工場や施設ではなく、女性が息抜きできる小さな喫茶店です」と、しみじみ語ったことを思い出す。その村にこんなカフェができたら…無理なら自分の家のベランダや庭にマイカフェを造り時々友達とパーティーをしたらどうだろう？

三重の「はぜの風」

そんなライフスタイルを実現している人は、と思いを巡らすと、三重県の山間で喫茶店「はぜの風」を営む「セレブの会」の女性たちの顔が蘇った。伊勢湾に注ぐ櫛田川の上流に住み、人生への思いが「上流」で実に生き生きと豊かな地域資源を活かして生きている。

11月11日～13日　岐阜・三重で　全国グリーン・ツーリズムネットワーク大会

「命とこころをつなぐ、都市につなぐ、次世代につなぐ」。このテーマの下に11月11日から13日まで、岐阜県と三重県で「第9回全国グリーン・ツーリズムネットワーク大会」が開催される。

多くの皆さんに感動交流を体感いただきたい。素敵なセレブとの出会いを楽しみに。

詳しくは http://gujoinagaku.jp/green/（岐阜県事務局：0575－62－3540、三重県事務局：059－224－2551）へ（NPO法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター代表理事／東洋大学社会学部長・青木辰司）

「市町村長と語る旅」18回目　まちむら交流機構

滞在型市民農園が充実

宮城県丸森町

グリーンツーリズムなどで都市住民と田舎の繋がりを深めようと、財団法人都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流機構）は「市町村長と語る旅」を続けている。「スロー風土（フード）な丸森町を行く」と題して10月に開催したツアーでは宮城県丸森町を訪れ、市町村長と語る旅も18回目を数えた。

丸森町は東北地方第2の大河、阿武隈川沿いに舟運を利用して古くから栄えた町で宮城県最南端にある。水と緑の豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統に育まれた美しい町だが、高齢化や過疎化に悩まされている。

町活性化に知恵を絞る渡辺政巳町長は、産業観光課にグリーンツーリズム推進班を設置、観光客誘致に力を入れ、ツアー参加者との懇親会でも「この町は美しい自然に恵まれ癒し効果も大きく食材も豊富だ。見所が沢山あるのでぜひ多くの人に訪れてほしい」と、アピールした。

同町の観光資源は、阿武隈渓谷の自然美や舟運の名残を伝える舟下り、棚田百選に選ばれた大張沢尻棚田などの自然や、養蚕業で財をなした豪商齋藤家の齋理屋敷など、秘めた魅力は多い。

ツアーはこうした見所を次々に訪れ、途中では体験型交流も。お年寄りが藁細工や布草履などを作っている高齢者生産活動センターでは、籐つるを使ったコースター作りを体験、地産地消のソバ打ちにも挑戦、田舎ならではの旅を満喫した。

中でも、参加者が感心し興味を示したのが、住民が主体となって運営する物産センターと、滞在型市民農園「クラインガルテン」の充実だ。

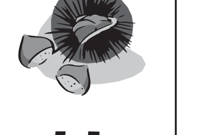
「大張物産センターなんでもや」は、大手直売所の撤退で日常生活に困惑した地元が、自分たちで店を運営しようと「なんでも売る、なんでもやる」と始めた共同出資店だ。店に来られないお年寄りなどの家には、車に生活必需品を積んで配達して回ることも。この活動は地域創りに貢献したとして、平成19年度に総務大臣表彰を受けた。

近年人気を集めているクラインガルテンは全国に約60カ所1000区画近くあるが、丸森町には不動尊地区18区画、筆甫地区8区画ある。畑は共に150平方㍍で、月最低2泊以上滞在か4日以上通園する条件。年間利用料は共に36万円ながら人気上々だ。野菜作りを楽しむだけでなく、田舎の宿泊滞在を通して地場の生活文化、多くの人々との出会いやふれあいを楽しんでいる。

同交流機構は「今後も市町村長と語る旅を続け都市と田舎の接点を増やす役割を果たしていきたい」と話している。

㊤ソバ打ち体験に精出すツアー参加者㊨地元産の農産物や民芸品の直売所・いきいき交流センター大内。人気イベントも多い

筆甫地区のクラインガルテン



読者の声

☆思い出と共に

10年ほど前、息子が学校でいじめに遭い、陰湿な疑いをかけられ、家を出てしまいました。捜査願いを出した結果、東京にいることがわかり、旅費も高いことから、道の駅を利用しながら夫と車で3日かけ、息子がお世話になっていたお宅へ。公園などで寝泊まりしていた息子も今はなんとか生活できるようになりました。心配と不安の旅は今や息子に会える楽しみの旅行に。改めて道の駅に感謝しています。（大分市　主婦・50歳）

☆Wボードなど

道の駅は、さまざまな人が利用するので、パソコンなどを開放するのは無理だと思います。できればホワイトボードやノートなどを置いて、お客さんたちにいろいろな情報を書き込んでいただいたらどうでしょうか。たいへんお手数ですが、道の駅の職員の方が、それらをインターネットに転載していただけたら、と思います。（三重県四日市市　主婦・24歳）

☆パソコン設置

道の駅の中にパソコンを設置していただき、そこにお客さんの感想などを書き込むことはできないでしょうか。それらを集約すれば、道の駅のさらなる発展に結びつくと思いますが――。（松江市　主婦・38歳）

☆バイク駐車場

バイクでよく道の駅に立ち寄るのですが、バイク用の駐車場が無いところが多いようです。雨降りの時は、濡れたレインコートのままで休憩できる場所をぜひ設置してほしいと思います。屋根だけでもいいし、ベンチがあればなお嬉しいです。（奈良県川西町　無職・69歳）

☆商店の案内も

旅人として、日用品が必要になることがあります。観光とは別に、スーパーや商店の情報が欲しいのです。飛騨の方に、商店の地図を置いた道の駅があったように記憶しています。私の場合、温泉なども「車中泊」の貧乏旅行なので、道の駅でカップめん、ごはん、おにぎりも売ってほしい。カセットコンロもけっこう需要があるはずです。（埼玉県鶴ヶ島市　無職・60歳）

☆マナーの問題

最近、道の駅利用者のマナーが良くない例をしばしば目にします。ゴミの放り投げ、吸殻ポイ捨て、缶、ビン、串類、ビニール袋の置き去り……さらにひどいのは、自分の車内のゴミ袋を駅のゴミ箱に押し込んでしまう人。ゴミの持ち帰りを徹底するため、残念ながら教育が必要なようです。（福島市　無職・70歳）

☆書ける読める

道の駅の利用者が、その場で書けたり読めたりする掲示板があったら楽しいのではないでしょうか。駅には必ず野菜販売コーナーがありますが、地元の方が、「こんな料理法がありますよ」と、遠隔地からのお客さんの知らない〝秘訣〟を教えてくださるのも、とてもおもしろいと思います。（三重県南伊勢町　地方公務員・51歳）

毎年約1900万人の観光客で賑わう鎌倉（神奈川県）。人力車での史跡・市内めぐりも人気だ

☆丸型のポスト

10年前から各地の道の駅めぐりを楽しんでいます。今年も数十カ所を訪れましたが、新しい発見をしました。それは、最近ほとんど見られなくなった〝昭和の主役〟丸型の郵便ポストがまだ元気で活躍している風景を見たことです。感激した場所は、三重県「菰野」、京都「美山ふれあい広場」、兵庫「青垣」です。時間の流れと共に消えていくレトロ品の一つですが、いつまでも残ってほしい。私の道の駅めぐりの楽しみが一つ増えました。（神戸市　無職・71歳）

☆車使わない人

自分では車を運転しないくせにドライブ好き、道の駅大好き人間です。遠出する時も、時間とドライバーの体力！さえあれば、高速など走らずに一般道を、道の駅ごとに寄り道しながら帰ってきます。地元（県内）の道の駅は、駅そのものを目的地として楽しめたらいいと思います。イベントなど地域の情報を、車に乗らない人の目にも触れるようなかたちで提供お願いします。（滋賀県高島市　会社員・59歳）

☆地元の資料を

地場産新鮮野菜は、誰にとっても楽しみなものです。私ももちろん、それを目指して道の駅に立ち寄ります。でも、私の場合は、駅に着くとまずその土地の資料をたくさん頂きます。これを家に帰ってから、ゆっくり楽しむのです。温かい触れ合いの場にふさわしく、絵手紙や川柳などの展示も欲しいですね。（仙台市　主婦・69歳）

☆「道」の奥深さ

たかが「道」、されど「道」ですが、道の奥深い意味を改めて知りました。本紙29号「私の道」の舞浜地ビール醸造職人・園田智子さん。ビール職人とはとても思えない？可愛い笑顔にクラッときました。それもそのはず、「海の香りがするビールを造りたい」という、なかなかロマンチックな方です。そのビールはとても美味しいにきまっています！（栃木県芳賀町　農業・54歳）

☆〝道しるべ〟だ

「道の駅」って、どなたが名付けたのでしょうね。初めて聞いた時は、「道に駅があるの？」と不思議な感じがしたものです。子どもたちが小さい時は家族5人でよく駅に立ち寄りましたが、最近は彼らも大きくなりなかなか付き合ってくれません。今は主人と2人で土地の風土を味わいながら、楽しく利用しています。〝道しるべ〟でもある道の駅、今後も案内をよろしくお願いします。（三重県四日市市　公務員・46歳）

☆芸能を公演中

「道の駅で地域の芸能を」という読者の声がありましたが、「ゆうひパーク浜田」や「道の駅津和野温泉なごみの里」などでは、既に実現しています。そこでは島根県西部の伝統芸能、石見神楽の定期公演があります。これが広がるといいですね。（島根県浜田市　パートタイマー・44歳）

☆ナナメの関係

本紙前号12ページの、「進化するグリーン・ツーリズム」に子どもの農業体験の様子が詳しく紹介されていました。ゴボウが子どもたちの一番人気だとのこと、意外でした。子どもたちと地域の方が「ナナメの関係」を結ぶという記事もありました。24歳の私も、ナナメの関係がうらやましいです。（兵庫県明石市　会社員・24歳）

◆お便り募集

このコーナーでは、道の駅をはじめ、農家レストランや、道路などに関する読者の皆様のさまざまな声を紹介していきます。

お便りはハガキで〒153-0064　東京都目黒区下目黒3-5-16　パームコート1F　NPO法人　人と道研究会　企画制作室宛にお寄せください。

また、読者専用のメールBOX（dokusya@route-press 21 st.jp）を設けました。お便りのほか、写真の投稿も大歓迎です。採用分には記念品をプレゼントします。

おもしろ万葉集

奈良　正

秋萩を妻問ふ鹿こそ、独り児も子持たりと言へ。鹿児じもの吾が一人子の、草枕旅にし行けば、竹玉を繁に貫き垂り、斉瓮に木綿とり垂でて、斉ひつつ吾が思ふ吾子。まさきくありそ。（一七九〇番）

秋萩を妻とする鹿は「一産一頭」と言う。その鹿の子のような私の一人子が旅に行くので、竹の輪切りをいっぱい紐に通し、首に掛けて、供物の酒瓮に木綿の布を飾り垂らし、身を浄め慎しみ、祈る。最愛の吾子が、日日事無く元気でいる様に!!

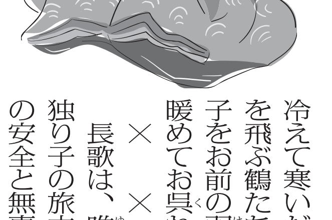
反歌

旅人の宿りせむ野に　霜降らば　吾が子はぐくめ　天の鶴群（一七九一番）

旅人が宿るだろう野に、霜が降ったら冷えて寒いだろう。空を飛ぶ鶴たちよ!!私の子をお前の羽で包み、暖めてお呉れ!!

×　×　×

万葉の母は……



長歌は、唯一無二の独り子の旅立ちで、その安全と無事を、神にひたすら祈る母――。

反歌は、霜の寒夜には、鶴たちに我が身に替わって、「吾子抱擁の暖」を乞い願う――。この母の心は広大無辺、全身全霊の鶴への懇願は、誠にけなげで、いじらしい!!

いささかの見栄も外連もない長反歌には、時空を越える「恒常の母親原像」がある。

さて、この歌には、「天平五（七三三）年、遣唐使の船が、難波を出て海路につく時、母親が子に贈った」との前書文が付いている。

サテ〳〵、この母は息子の旅程や唐のことを、どれほど知っていたのだろうか。また母子の出自・身分など何の記述もない。この余白埋めは、読者諸子の自由裁量の領分です。

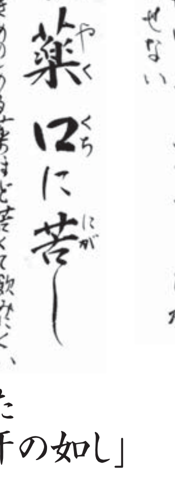
なお、この遣唐使は、第九次。多治比広成大使。五九四人が四隻に分乗。初めて「南路」使用。不幸にも第三・第四船は往路で遭難。大使ら四人が翌々年帰朝。その他は不明――。

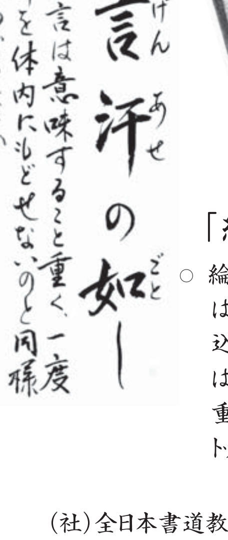
（万葉研究家）

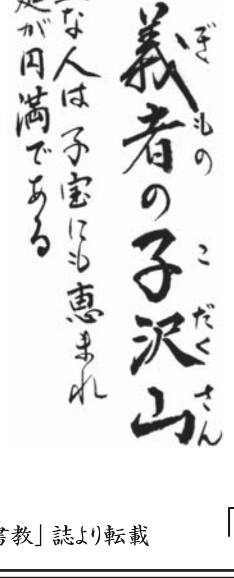
いろは歌留多

京かるた
「良薬口に苦し」

○「いろはがるた」が子供のものになるにつれ、「り」の札は「良薬口に苦し」と差し替えたものも現われた。よく効き目のある薬ほど飲みにくいように、身のために言われる忠告はとかく聞きたがらないという例え。







「綸言（りんげん）汗の如し」

○綸言（りんげん）とは王のことば。王様（権力者）から出た言葉は取り消したり、訂正したり出来ないという意味。一度発したら引っ込めるわけにはいかない、一度出た汗は体内に引っ込めることはできないと言う訳だ。それだけ王様は権限が大きいから、慎重に発言せよということだろうが、現代の日本の権力者（政界のトップ）は思いつき発言で、責任も取らないという体たらく。

江戸かるた
「律義者の子だくさん」

○現代社会では少し理解に苦しむ句である。律義者とは実直で誠実な人と言う意味。実直な働き者は家庭を円満に守り通しているので子宝にも恵まれると解される。逆もまた真なり？といえるかは難しい話でもあろう。
「貧乏人の子だくさん」というのもある。子だくさんだから貧乏になってしまうのか……。貧乏といわれても、貧乏の定義も昔とは変わっている現代とは合わない内容である。当時の庶民生活から生れた句として解釈したい。

中京かるた
「綸言（りんげん）汗の如し」

大阪かるた
「綸言（りんげん）汗の如し」

（社）全日本書道教育協会　http://www.shokyou.jp/html//　同協会発行「書教」誌より転載

プレゼントコーナー

▶応募方法

●プレゼント希望の方は希望商品番号（1～4のうち1点）を記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今月号で一番良かった記事⑩その他のご意見・ご感想を官製はがきに明記し、〒153-0064　東京都目黒区下目黒3-5-16 パームコート1F　NPO法人　人と道研究会　企画制作室宛、12月15日必着でお送りください。発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

※プレゼントに応募されたお客様の個人情報は「人と道研究会」が厳重に管理し、プレゼントの提供のため、および「人と道研究会」からのご案内に利用させていただきますが、これ以外の目的で第三者に提供することはありません。

①炭せっけん　シャルボンを20名に

大自然からの贈り物、流木を炭にするときにできる木酢液から身体に良い成分だけを抽出した独自の精製木酢液を配合。良質な炭の吸着作用で、毛穴の汚れや余分な皮膚をしっかり洗浄するのが、「シャルボン　ビューティーソープ」です。保湿力が高いのにさっぱり洗いあがり、無香料、無着色、無防腐剤で、デリケートなお肌にもオススメです。標準重量100グラム　メーカー小売価格800円。

提供：㈱エピュレ
http://www.epure.co.jp/

②本場の讃岐うどんお試しセットを20名に

亀城庵の讃岐うどんは素材にもこだわり、モチモチと粘り強いコシを生む独自ブレンドの粉、坂出沖の塩とにがり、軟水にろ過し粉によりなじむ水を使用。練りから包装までゆっくり3日かけて製造します。

お試しセットは、さぬき一膳うどん（並切麺、太切麺各3、2種類のかけつゆ各3入り）の計6人前。上代1350円。

提供：㈱讃匠
☎0877—85—6258

③せんとくんパズルキーホルダーを20名に

今、奈良県は平城遷都1300年祭の多彩な催しで賑っており、古都の秋をめざす観光客はさらに増えそう。1300年を象徴するゆるきゃらキャラクターで人気の「せんとくん」を9コマのパズルに仕立てて遊べる、記念のキーホルダー（平城遷都1300年記念事業協会記念事業委員会作成）は、おなじみの顔で寝そべる「せんとくん」が可愛い。

提供：平城遷都1300年記念事業協会

④健康飲料「ジュアールペコー」を20名に

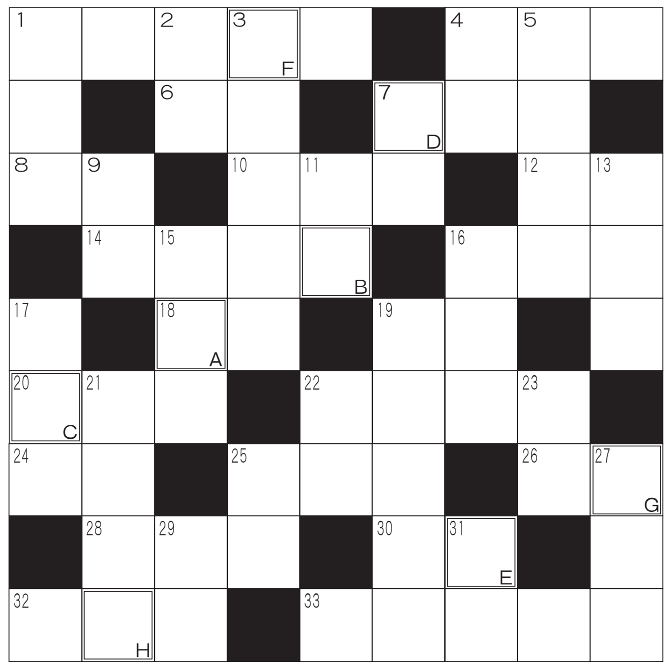
雑誌やマスコミの美容健康ダイエット特集に紹介され、話題沸騰中のジュアールティの新商品、「ジュアールペコー」（定価3000円）をプレゼントします。ケニア産の厳選された茶葉を使用したジュアールペコーは、独自のブレンドで作り上げた、美容や健康を心がけている方におすすめの健康飲料です。

提供：ジュアールジャパン株式会社
☎03—5775—7927
http://www.juarjapan.co.net

クロスワード　人と道パズル

★タテの鍵

1、お家へ帰る
2、パスポートに描かれている花といえば？
3、ハンバーグもカレーライスもパスタもコレ
4、水が流れています
5、マンションもビルも家もコレ
7、運命の赤い○○
9、↑↓後
11、○○に入っては○○に従え
13、遅れちゃう
15、ホープ
16、雑誌に原稿を寄せる
17、群馬県にある有名な温泉郷です
19、12月25日は何の日？
21、畑があります
22、「さぁ、何のこと？」○○を切る
23、火・○○・木
25、火の用心。マッチ1本○○の元
27、学校で抜き打ち…どうしよう
29、木が3つ
31、ピンから○○まで



問題制作・てらこ（ゼロページ）http://ZeroPage.jp

★ヨコの鍵

1、「最近、どうですか？」○○○○○報告、聞かせてくださいね
4、お侍さんの武器です
6、○○室　満室
7、三陸・わんこそば・宮沢賢治
8、割れないグラスといえば？
10、働くね
12、ペッタンペッタンと正月につく
14、「桔梗」何と読む？
16、エリンギ・エノキ・しいたけ
18、○○と私
19、薬膳料理に使われる実といえば？
20、右脳と○○○
22、ペテルギウス・プロキオン・○○○○
24、情報○○は何でも知ってるんだ
25、七つの子、黒い鳥
26、12月初旬生まれは何座？
28、ケータイメールで使う
30、暖炉でくべる
32、ユング・フロイトといえば何学者？
33、陸上競技など、スポーツマンのことをこういいます

▶応募方法

●クロスワードパズルの答A～Hを記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今月号で一番良かった記事⑩その他のご意見・ご感想を官製はがきに明記し、〒153-0064　東京都目黒区下目黒3-5-16　パームコート1F　NPO法人　人と道研究会　企画制作室宛、12月15日必着でお送りください。パズルの正解者には抽選で30名様に記念品をプレゼントします。

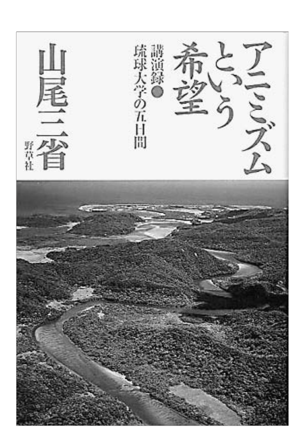
29号の正解は「ミチノエキデマナブ」でした

道の駅文庫

「人は成熟するにつれて若くなる」とヘルマン・ヘッセは言っています。

私たちもそのように成熟しながら、健康で、楽しく、美味しく暮らし、いつまでも若々しい気持ちで人生の道を歩いていきたいものです。

道の駅文庫は、そのような視点から、太陽や風を感じられるすぐれた図書を選定し、ご案内いたします。



アニミズムという希望

山尾三省　著
（野草社刊）

屋久島に移り住み、自然に回帰する生き方を詩やエッセイに綴り世界に発信続けた山尾三省さんは、二〇〇一年八月、ガンで亡くなった。六十二歳だった。その山尾さんが一九九九年七月に沖縄の琉球大学で集中講義を行った。九十分の講義を一日三回、五日間にわたる講義だった。その講義録を再編集して二〇〇〇年九月に出版されたのが本書で、山尾三省さんの人生と思想の到達点が凝縮されている。彼はあとがきでこう書いている。

「森羅万象に向き合う個人が、その中の一象に意味性や喜びとしてのカミを見いだし、それを他者と共有していく新しいアニミズム思想は、個人が個人でありながらそれを超えていく自由を内臓していると同時に、環境問題という私達に突きつけられている必須の課題を解決していく、小さいけれども重要な方法論である。」

アニミズムとは、原初的な宗教をさす言葉で一般的には精霊信仰と呼ばれる。山や樹木などに精霊があり、恐れ敬うというのがアニミズムだ。山尾さんは、森羅万象のなかにカミ（精霊）がいる、というアニミズムこそ人類と地球を救う希望だ、と思い至ったのだ。そうした思いは、山尾さんの二十有余年に及ぶ屋久島での暮らしと詩作、思考の結晶としてにじみ出てきたように思える。

山尾さんは、屋久島を終の棲家と決め、屋久島の自然と風土の内側に入って行った。その場所で生き、死ぬのだと達観し得たとき、そこのあらゆる存在が、それは縄文杉であったり野に咲く花であったりするが、一気に生命あるもの霊あるものとして「親和力」をもって山尾さんの前に現れたのだと思う。集中講義では、山尾さんの詩の朗読が毎回行われ、最初の講義では「土と詩」という詩を紹介している。詩の最後のフレーズ「土は無限の道場、詩はそこに正座する」これこそ山尾さんが学生達に伝えたかったメッセージだ。

本書は第一話「土というカミ」から始まり第十五話までの構成。つまり十五回講義の内容順だと思う。随所にインドの古代哲学が出てきて講義の奥深さを語っている。第十話「ついの栖」（すみか）では小林一茶の帰郷と俳句について語り、人間の「故郷性存在」ということを教えている。人には、安心して生き、死んでいける場所を見つける感性がある、と山尾さん。「そのような場所を探し出していく、見つけ出していくと、そこから本当の人生がはじまる」と学生達に語りかける。

第十四話「回帰する時間」では、進歩という直線的な時間と、永遠に変わらない循環する時間の相克について語り、次世代の課題は二つの時間の相を調和していくことだと語りかける。最終講義では、「自立した個人として生命体および非生命体をも含んだ新たな共同性」の再構築という点に及ぶ。この最後の一点において「アニミズムという希望」の意味が単に人の生き方ではなく社会のあり方を見据えたものだと気づかされた。私も、琉球大学の聴講生という気持ちになって再読し、山尾さんが到達した思考の深さを味わいたい。

（花信風子）

Route Press ルートプレス 21st.

道 21 世 紀 新 聞
発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

もうひとつのエコ・ドライブ。

あなたは今、どんなクルマにお乗りですか。排ガスとしてどれくらいの量の二酸化炭素をばら撒いているか、お考えになったことは…？
エンジンタイプや排気量、ドライブ頻度にもよりますが、クルマ1台あたりの放出量は推計で年間2.3トンといわれます。
その二酸化炭素を吸収し、きれいな空気に戻してくれるのが緑のパワーです。
2.3トンの吸収に必要な緑は、杉の木換算でおよそ160本。
ちょっとした森、とも呼べるような本数ですね。
だからこそ心がけたい、森に負担をかけないような優しい運転。
そして同時に、健やかな森づくりのための運動「緑の募金」への協力も、
別な意味でのエコ・ドライブのひとつなのです。

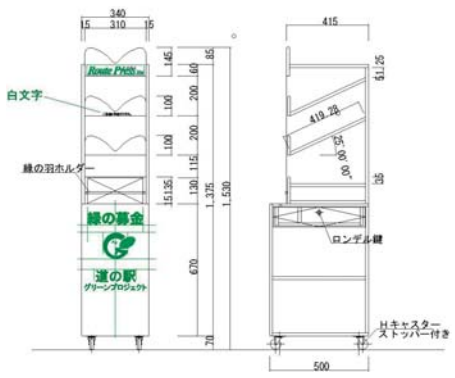
道の駅を中心に「地域の緑と地球環境を守る」活動がスタートします。

「道の駅」へ緑の募金箱を設置するとともに、森のあれこれを学ぶミニイベントの開催など、緑のエコステーションとしての活動を行っています。

緑の募金箱付きラック

「道の駅」のご理解とご協力により、ラックを全国に設置してまいります。お問い合わせ・お申し込みは、下記までお願いいたします。

社団法人 国土緑化推進機構
E-mail　m-bokin@green.or.jp
F A X　03-3264-3974
※募金箱のデザインは、都合により一部変わる場合がございます。



皆様から寄せられた募金は、学識経験者などで構成される運営協議会での慎重な審議を経て、国内や海外において社会的意義の高い「森林・みどりづくり」に取り組んでいるボランティア活動の支援に、大切に活用されます。

緑の募金
社団法人 国土緑化推進機構

道の駅を“学びの場に”キャンペーン
〈道の駅グリーンプロジェクト〉11月28日(日)／道の駅 ゆうひパーク浜田（島根県浜田市）